

取扱説明書

Xシリーズ音声ファイル管理アプリケーション (ET-VMMAP-Xi)

Ver1.0.X.X

利用規約

本規約に同意いただいた場合にダウンロードおよび使用していただくことができます。

1. 著作権

Xシリーズ音声ファイル管理アプリケーション「ET-VMMAP-X」〔以下本プログラムという〕の著作権は株式会社日立情報通信エンジニアリングおよび株式会社ナカヨが所有します。

本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはならない。

2. 使用範囲

本プログラムの使用はXシリーズボイスメモ機能の音声ファイル管理に限る。

3. 複製の制限

販売店・工事店がXシリーズボイスメモ機能利用者に対して本プログラムの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本プログラムを電送してもよい。また、この機能を使用するユーザー内において、本プログラムの複製を作成してもよい。

4. 制限事項

本プログラムは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本プログラムを逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本プログラムやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための販売、配布、ネットワーク接続し、あるいは本プログラムやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

5. 本プログラムの所有権

使用にあたっての販売店・工事店またはXシリーズボイスメモ機能を使用するユーザーはプログラムが記録あるいは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本プログラム、並びにその後作成される本プログラムのすべての複製に対する権利および所有権は、当該オリジナルおよび複製が存在する形態や媒体にかかわらず、当社が保持する。

6. 機密保持

使用にあたっての販売店・工事店またはXシリーズボイスメモ機能を使用するユーザーは、本プログラムの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意なしに、本プログラムをいかなる第三者にも開示しないこと（販売店・工事店がXシリーズボイスメモ機能利用者に対する開示を除く）。さらに、第三者に本プログラムに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

7. 個人情報の管理、保護

本プログラムを使用して確認できる個人情報は、個人情報の漏えい、改ざんなどの危険にさらされない様に取り扱い権限者の明確化などの組織的な対応、さらに悪意をもった人物の不正なアクセスを阻止するためにあらゆる合理的なセキュリティを確保すること。

8. 賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、あるいはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

9. 輸出

本プログラムまたは関連文献を輸出（海外提供）される場合には、外国為替および外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など、外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続きを取ること。

※本説明書内の画面と操作例は一例です。本説明書中の画面はWindows® 10の例で記載しています。

本アプリケーションのバージョンや設定、お使いのパソコンの環境によって画面は異なる場合があります。

1. はじめに

「X シリーズ音声ファイル管理アプリケーション」の特長と概要	1-2
パソコンのハードウェア条件	1-5
接続方法	1-6
インストールとアンインストール	1-7
アプリケーションの起動・終了	1-9
メイン画面について	1-10
録音情報一覧の項目について	1-12
設定メニューについて	1-15

2. 基本操作

ログイン	2-2
ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード	2-4
[1]ダウンロード先フォルダを設定・削除する	2-4
[2]ボイスメモのフォルダをダウンロードする	2-9
[3]起動時のフォルダを指定する	2-10
[4]ダウンロード先や録音情報を表示するフォルダを変更する	2-11
各種メッセージのダウンロード	2-12
[1]すべてのボックスを一括ダウンロードする	2-12
[2]ボックスを選んでダウンロードする	2-13
[3]録音情報をダウンロードしたあとに音声ファイルをダウンロードする	2-14
[4]初期ダウンロードウィザードでダウンロードする	2-16
[5]録音情報／音声ファイルのダウンロード時に表示されるエラー画面について	2-21
録音情報を表示する	2-22
[1]録音情報一覧を表示する	2-22
[2]録音情報一覧を複数表示する	2-23
[3]条件を絞り込んで録音情報一覧を表示する	2-25
音声メッセージを再生する	2-28
音声メッセージを消去する	2-31
システム応答メッセージを追加する	2-33
システム応答メッセージをアップロードする	2-36

3. その他の操作

一覧表示する項目を追加・消去する	3-2
音声ファイルの常時ダウンロード	3-3
音声ファイルを指定フォルダに保存する	3-4
音声メッセージ移動・コピー専用のボックスフォルダを作成する	3-6
音声メッセージを別のボックスフォルダに移動・コピーする	3-9
録音情報を編集する	3-11
ボックス名称を編集する	3-13
外部メディアに音声ファイルを保存する	3-14
録音情報を CSV 形式でエクスポートする	3-15
主装置の内線電話帳をインポートし、内線ボックス名称に反映させる	3-17
各種メッセージを自動でバックアップする	3-19
ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する	3-23
ダウンロード先フォルダのデータを移動する	3-24
ヘルプを利用する	3-25

1. はじめに

「X シリーズ音声ファイル管理アプリケーション」の特長と概要

「Xシリーズ音声ファイル管理アプリケーション」(以下、「本アプリケーション」と略します)は、主装置の持つボイスメモ機能(以下、「ボイスメモ」と略します)と連携し、ボイスメモに録音されている音声ファイルをパソコンで管理するアプリケーションです。また、それらの音声ファイルはパソコンで再生できます。

ボイスメモ機能の詳細については、主装置の取扱説明書をご覧ください。

※本アプリケーションは、Xシリーズの主装置の持つボイスメモ機能と共に使用します。他のシリーズでは使えません。下記の増設ユニットを取り付けた状態でも使えます。

・ボイスメモ8チャネル増設ユニットXi <型名:ET-8VMEX-Xi>

■ご利用できる機能

下記の機能をご利用できます。

機 能	概 要
ログイン	・本アプリケーションをご利用になるには、主装置にログインする必要があります。IPアドレス、ユーザー名、パスワードの入力が必要になります。(☞2-2ページ)
各種メッセージのダウンロード	・ボイスメモに録音されている各種メッセージを、パソコンにダウンロードできます。(☞2-12ページ) ※初期設定のとき、または保存先を変えたいときは、各種メッセージをダウンロードする前に、保存先の設定(☞2-4ページ)とフォルダのダウンロード(☞2-9ページ)を実行してください。 ・録音情報(BOX番号、録音日時、録音時間、相手の電話番号などの情報)と音声ファイル(音声データ)をダウンロードできます。録音情報だけをダウンロードしておき、音声ファイルをあとからダウンロードできます。 ※コメント録音部は対象外となります。 ・ログインからダウンロードまでの一連の操作をウィザード形式で実行します。(☞2-16ページ) ・ボックスごとに自動ダウンロードできます。これによりダウンロード操作を行わなくても、録音情報一覧表示(☞2-22ページ)の自動更新ができます。(☞3-3ページ)
録音情報の表示	・ダウンロードした録音情報をパソコン上で一覧表示できます。同時に複数(最大4個)の録音情報を表示したり、条件で絞り込んで表示したりできます。(☞2-22ページ) ・一覧表示する項目を追加したり削除したりできます。(☞3-2ページ) ・録音情報にタイトルやメモを入力できます。(☞3-11ページ)
音声メッセージの再生	・ダウンロードした音声メッセージをパソコン上で再生できます。(☞2-28ページ) ※メッセージの再生は、パソコンにインストールされている汎用のプレーヤー(Windows Media® Playerなど)を使います。
音声メッセージの消去	・ダウンロードした各種メッセージを消去できます。(☞2-31ページ) ・ボイスメモに記録されている音声メッセージを消去できます。
音声ファイルの指定フォルダ保存	・選択された音声ファイルを、フォルダを指定して保存できます。(☞3-4ページ)
専用のボックスフォルダの作成	・各種メッセージをダウンロードするため、パソコン内にボイスメモのボックスと同じ構成のボックスフォルダが設定されます。移動・コピー専用のボックスフォルダを独自に作成できます。(☞3-6ページ) ※独自に作成したボックスフォルダには録音情報や音声ファイルはダウンロードされません。
音声メッセージの移動・コピー	・ダウンロードした音声メッセージを、他のボックスフォルダに移動またはコピーできます。(☞3-9ページ) ※システム応答メッセージにこの機能は使えません。
システム応答メッセージの追加とアップロード	・ユーザーが作成した音声データを、システム応答メッセージとして読み込めます。(☞2-33ページ) ・システム応答メッセージはボイスメモにアップロードできます。アップロードしたメッセージは、ボイスメモで応答メッセージとして使用できます。(☞2-36ページ)
自動バックアップ	・ボイスメモに保存されている各種メッセージを自動的にバックアップできます。バックアップの条件(日時など)の設定ができます。(☞3-19ページ)
外部メディアへの保存	・ダウンロードした音声メッセージを、CD-Rなどの外部メディアに保存できます。(☞3-14ページ) ※外部メディアに保存したデータは、いつでも復元できます。復元すると、情報の表示やメッセージの再生などを行えます。
録音情報のエクスポート	・録音情報をCSV形式でエクスポートできます。表計算ソフトなどで利用できます。(☞3-15ページ)
内線電話帳のインポート	・内線ボックスにはボックス名(内線名称など)を登録できます。内線電話帳をインポートすると、内線電話帳に登録されている内線名称がボックス名にコピーされます。内線電話帳は専用の「電話帳／履歴管理アプリケーション」を使ってあらかじめ保存しておきます。(☞3-17ページ)

1. はじめに

■全般的なご注意(1/2)

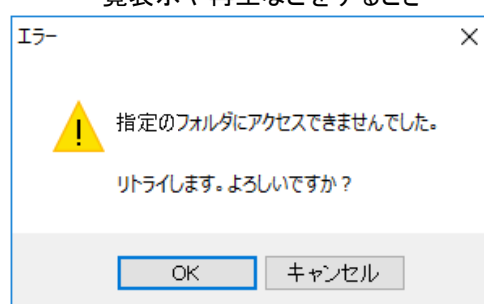
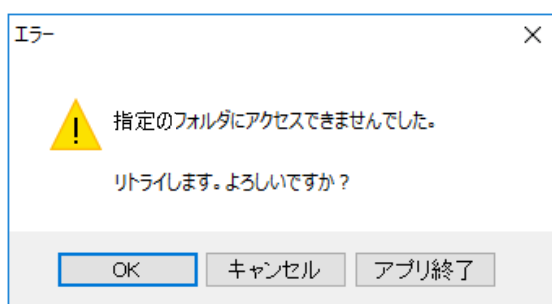
- 本アプリケーションは機能改善などのため、予告なく更新される場合があります。安定してご利用いただくために、最新版に更新してご利用ください。詳しくは☞1-7ページをご覧ください。
- 本アプリケーションは、Windowsのアカウントユーザーの種類を「管理者」に設定したパソコンでインストールおよび使用できます。
- パソコンの「ファイアウォール」は「有効」にしないでください。正常にダウンロード、アップロードできなくなります。
- 本アプリケーションは、スタンドアロンのパソコンで使用するアプリケーションです。
録音情報／音声ファイルのダウンロード、アップロードで扱うフォルダは、本アプリケーションがインストールされているパソコン内のハードディスクに作成してください。ネットワークドライブ等の外部メディアでは、正しく動作しない場合がありますので、外部メディアに録音情報／音声ファイルを保存する場合は、パソコン内のフォルダからコピーして保存してください。
- ネットワークドライブのフォルダは指定しないでください。アプリケーションを起動したときや、各種メッセージのダウンロード、一覧表示や再生などをすると、指定のフォルダがアクセスできないと、下記のエラー画面が表示されます。

をクリックするとリトライします。

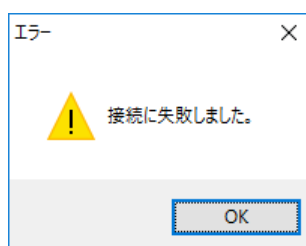
必ずアクセスできるようにするため、パソコン内のハードディスク上のフォルダに変更して運用してください。

起動したとき

各種メッセージのダウンロード、
一覧表示や再生などをすると



- 主装置へ同時にアクセスできるパソコンは1台だけです。
2台以上のパソコンがアクセスすると、下記のエラー画面が表示されます。ボイスメモからの録音情報／音声ファイルのダウンロードやアップロード、ボイスメモ内の音声メッセージの消去以外は、複数のパソコンで本アプリケーションを使えます。

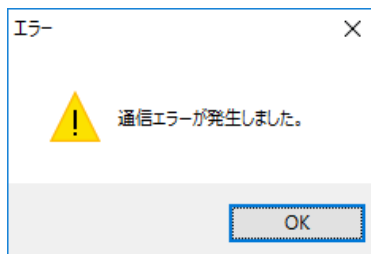


1. はじめに

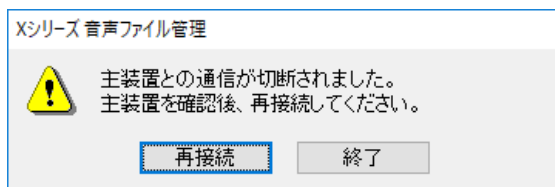
■全般的なご注意(2/2)

- 本アプリケーションは主装置とネットワーク通信でアップロードやダウンロード、消去を行っています。ネットワークの負荷状況によっては、パソコンと主装置間の通信が途切れ、下記のエラー画面が表示される場合があります。

をクリックしてメイン画面に戻ってください。



また、主装置と通信を行っていない場合でも、ログイン中にパソコンと主装置間の通信が途切れた場合は、下記のエラー画面が表示されます。 をクリックすると再接続できます。



- 本アプリケーションで作成されたフォルダを別のアプリケーション(エクスプローラなど)で変更しないでください。誤って変更してしまった場合、本アプリケーションで録音情報一覧を表示できなくなる場合があります。
- 本アプリケーションは複数起動できません。
- 各種メッセージをダウンロード、移動・コピーしたとき、パソコンのハードディスク容量などが不足すると「PCのメモリ不足です。」のエラー画面が表示されます。不要な音声メッセージやその他の不要なファイルを削除してください。
- 同時に起動している他のアプリケーションによっては、競合などによりエラーが発生し、正常に動作しない場合があります。エラーが発生して正常に動作しない場合は、他のアプリケーションを終了して本アプリケーションを再起動してください。
- 本アプリケーション使用中にWindowsの持つドライブのデフラグ(最適化)を実行すると、正常に動作しなくなりますので、実行しないでください。ドライブのデフラグ(最適化)につきましては、お使いのパソコンの説明書などを確認してください。
- 本アプリケーションが、ダウンロードフォルダ内で扱える音声メッセージの上限は20000件です。20000件を超えた場合、パソコンの動作が遅くなるなど正常に動作しない場合があります。フォルダを切り替えるなどして、20000件を超えないようにしてお使いください。
- パソコンがスリープ状態や休止状態に移行するとバックアップやダウンロードなどの機能は実行されません。これらの状態には移行させないようにパソコンを設定してください。

パソコンのハードウェア条件

インストールする前に以下のハードウェア条件を満たしていることを確認してください。

- ・必須ハードウェア条件・・・この条件を満たさない場合は、アプリケーションの動作が非常に不安定となり、正常に動作しません。最低限の動作ができる条件です。
- ・推奨ハードウェア条件・・・すべての機能が、スムーズにご使用いただける条件です。ダウンロードする各種メッセージの量が多い場合や一覧表示する録音情報が多い場合は、こちらを目安としてください。

※推奨ハードウェア条件は、本アプリケーションと一般的に使用されるワープロソフト、表計算ソフト、メールソフト、インターネットブラウザを併用した場合を想定しています。実際のお客様の Windows 環境とは異なる場合があります。

オペレーティングシステム(OS) [※1]			CPU	HDD容量 [※2]	メインメモリ
Windows Server® 2016 Datacenter	日本語版	必須条件	1. 4GHz	32GB	4GB
Windows Server® 2016 Standard	日本語版				
Windows Server® 2019 Datacenter	日本語版	推奨条件	2GHz	33GB	8GB
Windows Server® 2019 Standard	日本語版				
Windows® 11 Education	日本語版	必須条件	1GHz	1GB	4GB
Windows® 11 Pro	日本語版				
Windows® 11 Home	日本語版	推奨条件	2GHz	2GB	6GB
Windows® 10 Education	32bit 日本語版				
Windows® 10 Enterprise	32bit 日本語版	必須条件	1GHz	1GB	1GB
Windows® 10 Pro	32bit 日本語版				
Windows® 10 Home	32bit 日本語版	推奨条件	2GHz	2GB	2GB
Windows® 10 Education	64bit 日本語版				
Windows® 10 Enterprise	64bit 日本語版	必須条件	1GHz	1GB	2GB
Windows® 10 Pro	64bit 日本語版				
Windows® 10 Home	64bit 日本語版	推奨条件	2GHz	2GB	3GB

[※1]・音声メッセージの再生などを行うためにパソコンにサウンドデバイスが搭載されている必要があります。

・Windows Server®は、音声メッセージの再生などを行うために「デスクトップ エクスペリエンス」機能をインストールする必要があります。

「デスクトップ エクスペリエンス」機能のインストール方法につきましては、お使いのパソコンの説明書などを確認してください。

[※2]上表のHDD容量には、ダウンロードする各種メッセージの容量は含んでいません。必要なHDD容量はダウンロードする音声ファイルなどの件数や録音時間によって異なりますので、十分な空き容量を確保しておいてください。自動バックアップ機能を使う場合には、さらに多くの空き領域が必要になります。

●Windows® 10はMicrosoft® Windows® 10 operating systemの略です。

●Windows® 11はMicrosoft® Windows® 11 operating systemの略です。

●Windows Server® 2016はMicrosoft® Windows Server® 2016 operating systemの略です。

●Windows Server® 2019はMicrosoft® Windows Server® 2019 operating systemの略です。

●Microsoft, Windows, Windows Server, Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1. はじめに

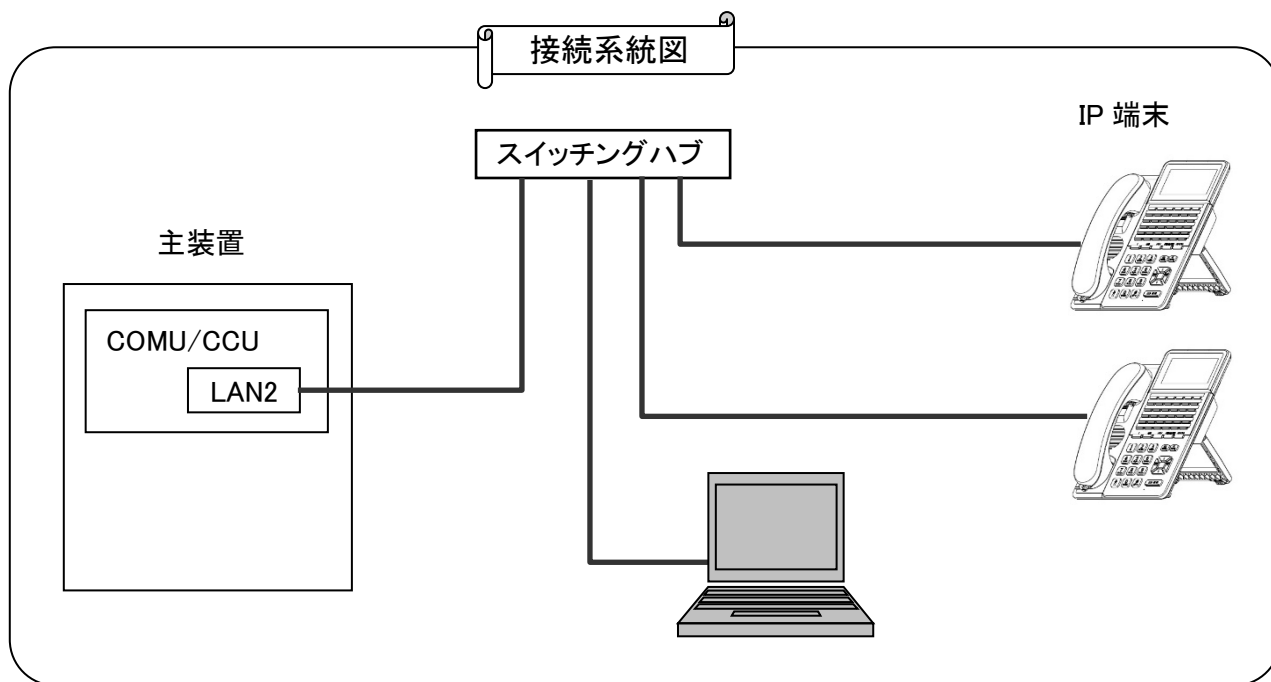
接続方法

下図のように主装置とパソコンをLAN環境に接続します。
(接続工事や設定は、販売店・工事店にご依頼ください。)

- 主装置とパソコンは同じ LAN 内に接続してください。(VPN や WAN 環境では使用できません)
- 主装置のIPアドレスの初期値は、「192.168.1.100」です。使用するパソコンの IP アドレスを主装置の IP アドレスと同じセグメントに設定してください。

例: 主装置が「192.168.1.100」の場合は「192.168.1.xxx」を設定します(第3オクテットまで同一にする)。

※主装置を現在お使いの LAN 環境に接続する場合は、主装置のネットワーク設定(IP アドレスなど)を変更する必要があります。設定変更は販売店・工事店にご依頼ください。



※本図は一例です。

ご注意

- 接続するパソコンで無線LAN等を使用する場合、環境条件によってはデータ保存の遅れや、通信エラーが発生する場合があります。
- パソコンの「ファイアウォール」は「有効」にしないでください。正常にダウンロード、アップロードできなくなります。「ファイアウォール」を「無効」にする手順は以下のとおりです。
 - ①[スタート]を右クリックして[設定]⇒[更新とセキュリティ]⇒[Windows セキュリティ]を選択し、[ファイアウォールをネットワーク保護]をクリックする。
 - ②「ファイアウォールとネットワーク保護」画面の[詳細設定]を選択する。
 - ③「セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール」画面の[プロパティ]をクリックし、[パブリック プロファイル]タブを選択する。
(使用するネットワークの場所が「ホームネットワークまたは社内(プライベート)ネットワーク」の場合は[プライベート プロファイル]タブを選択する)。
 - ④「保護されているネットワーク接続」の横にある **カスタマイズ(S)** をクリックし、主装置につないでいる接続のチェックを外し、**OK** をクリックする。

インストールとアンインストール

■新規インストール

はじめて本アプリケーションをインストールする手順は下記のとおりです。

- ①ダウンロードまたは入手したファイル「VMMAP-Xxxxx.exe」を実行する。
(xxxxはプログラムのバージョンを示しています。)
- ②これ以降は、画面の指示に従ってください。

標準インストール先を以下に示します。

32bit版OS:「C:\Program Files\ET-VMMAP-Xi」

64bit版OS:「C:\Program Files(x86)\ET-VMMAP-Xi」

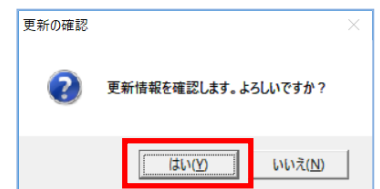
本アプリケーションをインストールすると、デスクトップに本アプリケーションのショートカットが作成されます。

■更新版のインストール

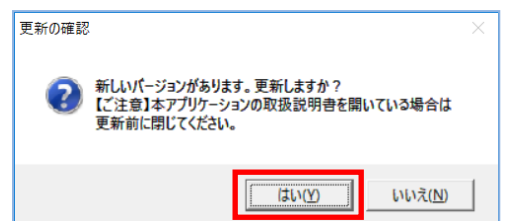
(1) アップデート機能を使う

本アプリケーションには、インターネットを経由して行うアップデート機能があります。本機能を使うにはインターネットに接続しておく必要があります。最新版に更新する手順は下記のとおりです。

- ①ログアウトしている状態で、メイン画面右上の **ヘルプ** をクリックし、「アップデート」をクリックする。
- ②「更新の確認」画面が表示されるので **はい(Y)** をクリックする。
「確認中」画面が表示されます。



- ③アップデート版がある場合、「更新の確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする。
「ダウンロード」画面が表示されます。本アプリケーションの取扱説明書を開いている場合は閉じてください。

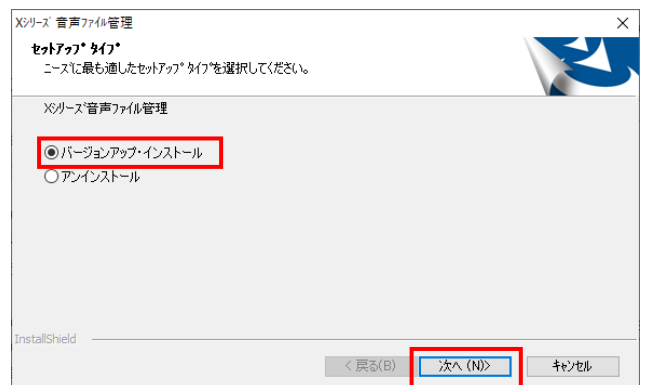


- ④ダウンロードが完了すると、インストーラが起動するので、(2)の②以降の手順に従って更新してください。
※ダウンロードしたファイルは、「ダウンロード」フォルダに保存されます。

(2) 入手したアップデートファイルを使う

アップデートファイルを使って、最新版に更新する手順は下記のとおりです。

- ①ダウンロードまたは入手したファイル「VMMAP-Xxxxx.exe」を実行する。
(xxxxはプログラムのバージョンを示しています。)
- ②しばらくすると「セットアップタイプ」画面となるので、「バージョンアップ・インストール」を選び、**次へ(N)** をクリックする。
- ③これ以降は、画面の指示に従ってください。
※インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。



1. はじめに

■アンインストール

本アプリケーションをパソコンから削除する手順は下記のとおりです。

①[スタート]を右クリック⇒[設定]⇒[アプリと機能]を検索する。

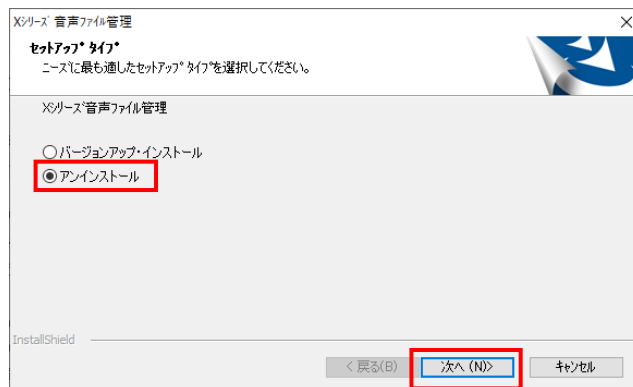
※「アプリと機能」が見つからない場合は、エクスプローラを開き、アドレスバーに”ms-settings:appsfeatures”と入力し、[Enter]キーを押してください。

②「Xシリーズ音声ファイル管理」を選び、**変更** または **アンインストール** をクリックする。

※上記①～②の操作の代わりに、インストール時のファイル「VMMAP-Xixxxx.exe」の実行でもできます。

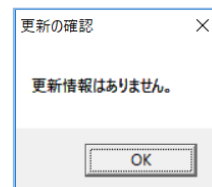
③しばらくすると「セットアップタイプ」画面となるので、「アンインストール」を選び、**次へ(N)** をクリックする。

④これ以降は、画面の指示に従ってください。



ご注意

- パソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。他のユーザーでログインしてインストールを行った場合、本アプリケーションが正常に動作しません。
- 本アプリケーションのインストールやアンインストールを行う際に、ユーザーアカウント制御警告が表示されることがあります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認して **はい(Y)** をクリックしてください。
- 本アプリケーションをインストールする際に、「Windows によって PC が保護されました」が表示される場合があります。表示された場合は、「詳細情報」をクリックし、「アプリ」の右側に表示されているファイル名がインストールしようとしているものと同じであることを確認してから **実行** をクリックしてください。
- アップデート版がない場合は、右の画面が表示されます。
OK をクリックすると、メイン画面に戻ります。



1. はじめに

アプリケーションの起動・終了

■アプリケーションの起動

下記の方法で起動してください。

- デスクトップにあるアプリケーションアイコン(「Xシリーズ音声ファイル管理」のショートカットアイコン)をダブルクリックする。

アプリケーションを起動すると、メイン画面(基本画面)が表示されます。

※1: 右図は設定を何もしていないときの画面(はじめて起動したときの画面)です。

※2: 起動したあとは、「設定メニュー」の設定内容により、開かれるフォルダは異なります。(☞2-10ページ)

起動時に前回のフォルダを開く(初期値):

最後に指定したフォルダを開きます。ボックスおよび一覧表の種類も最後に指定した状態になります。

起動時に指定のフォルダを開く:

指定したフォルダを開きます。ボックスおよび一覧表の種類は最後に指定した状態になります。ただし、設定を「起動時に指定のフォルダを開く」に変更したり、指定フォルダ名を変更したりしたときは、次回起動時のメイン画面のボックスおよび一覧表は空欄となります。



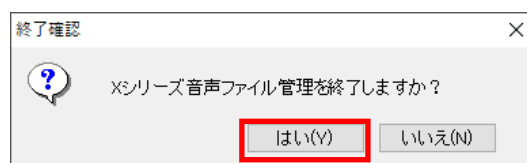
■アプリケーションの終了

下記の手順で終了します。

- ① タイトルバー右の ☐ ボタンをクリックする。

※タイトルバー左のアイコンをクリックし、[閉じる]を選ぶこともできます。

- ② 「終了確認」画面が表示されるので、☐ はい(Y) をクリックする。



補足説明

- 設定メニューについては、1-15 ページをご覧ください。
- 自動バックアップの設定をしている場合には、別の画面が表示されます。(☞3-21、3-22 ページ)

ご注意

- 起動時にユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認して ☐ はい(Y) をクリックしてください。

1. はじめに

メイン画面について

本アプリケーションを開いたときに表示される画面で、各種操作ボタンと録音情報一覧が表示されます。

※はじめて起動したときは、フォルダ名、ボックス、録音情報一覧は表示されません。

■各部の説明



1. はじめに

表示項目の説明

番号	名前	機能や動作の概要
①	各種ダウンロードボタン	ボイスメモからダウンロードするファイルの種類を指定します。 <div>フォルダのダウンロード</div> : 各種メッセージをダウンロードするため、パソコン内にボイスメモと同じ構成のフォルダを作成します。本アプリケーションをはじめて使用するときは、必ず行ってください。(☞2-4ページ) <div>一括ダウンロード</div> : すべてのボックスの各種メッセージとシステム応答メッセージをダウンロードします。(☞2-12ページ) <div>選択ダウンロード</div> : ダウンロードするボックスを選んで各種メッセージをダウンロードします。システム応答メッセージを選ぶこともできます。(☞2-13ページ) <div>音声データダウンロード</div> : 録音情報をダウンロードしたあとに音声ファイルをダウンロードします。(☞2-14ページ)
②	フォルダ名、ボックスボタン	一覧表示するフォルダやボックス、ダウンロード先のフォルダを指定します。 <div>フォルダ名</div> : フォルダを選びます。右枠には現在開いているフォルダ名を表示します。(☞2-11ページ) <div>ボックス</div> : 一覧表示するボックスを選びます(複数の留守録BOX、内線BOXが選べます)。右枠には現在開いているBOX番号を表示します。枠の右にあるスクロールボタンで、表示を上下にスクロールできます(表示が枠の幅を超えるときや留守録BOXと内線BOXが混在しているとき)。(☞2-22ページ)
③	表示ボタン	録音情報の一覧表示方法を指定します。 <div>選択表示</div> : 条件を絞り込んで録音情報を表示します。(☞2-25ページ) <div>全表示</div> : すべての録音情報を表示します。(☞2-22ページ) <div>未ダウンロード表示</div> : 音声ファイルをダウンロードしていない録音情報を一覧表示します。(☞2-22ページ)
④	音声メッセージ処理ボタン	音声メッセージの処理を行います。 <div>別フォルダ保存</div> : 選んだ音声メッセージを、フォルダを指定して保存します。(☞3-4ページ) <div>再生</div> : 選んだ音声メッセージを再生します。(☞2-28ページ) <div>消去</div> : 選んだ音声メッセージを消去します。(☞2-31ページ) <div>移動・コピー</div> : 選んだ音声メッセージを移動またはコピーします。(☞3-9ページ) <div>追加</div> : 指定した位置に音声ファイルを読み込みます。(☞2-33ページ) <div>アップロード</div> : 選んだ音声メッセージをボイスメモにアップロードします。(☞2-36ページ)
⑤	設定 ボタン	各種設定を行います。(☞1-15ページ) 主な設定: ・ログインおよびログアウトの操作および起動時のフォルダ指定 ・ダウンロード各種設定 ・パソコンの音量調整 ・録音情報一覧の表示項目の追加と消去 ・録音情報の編集、など
⑥	ウィンドウ ボタン	一覧表を複数表示したときの表示パターンを切り替えます。開いている一覧表をリスト表示します。(☞2-23ページ)
⑦	ヘルプ ボタン	・取扱説明書を開きます。 ・アプリケーションをアップデートします。 ・アプリケーションのバージョンを表示します。
⑧	音声メッセージ件数表示	音声メッセージの件数を表示します。 ・フォルダトータル: <div>フォルダ名</div> の右枠に表示しているフォルダ内の音声メッセージ合計件数を表示します。 ・ボックストータル: <div>ボックス</div> の右枠に表示しているBOX番号の音声メッセージ合計件数を表示します。 ・一覧表トータル: 表示している一覧表の音声メッセージの合計件数を表示します。 ・未再生 : 表示している一覧表の音声メッセージのうち、ボイスメモ側で未再生の音声メッセージ合計件数を表示します。 ・再生済 : 表示している一覧表の音声メッセージのうち、ボイスメモ側で再生済の音声メッセージ合計件数を表示します。 ・システム応答メッセージトータル: 登録できるシステム応答メッセージの最大件数です。
⑨	情報表示一覧	各メッセージの録音情報の表示欄です。(☞1-12ページ)

1. はじめに

録音情報一覧の項目について

メイン画面に表示される録音情報一覧には、ボイスメモからダウンロードした録音情報や、本アプリケーションで登録できる「タイトル」や「メモ」が表示されます。音声メッセージとシステム応答メッセージではそれぞれ表示する内容が異なります。

■音声メッセージ

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
フラグ	取込	再生/未再生	保護/非保護	BOX番号	BOX名称	相手番号	相手名称	日時	録音時間	タイトル	メモ	ファイル名
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	101		102	(内線)102	20 /07/21 ...	00:01:06			VMU#naisen#
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	101		103	(内線)103	20 /07/21 ...	00:00:51			VMU#naisen#
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	101		102	(内線)102	20 /07/21 ...	00:00:18			VMU#naisen#

表示項目の説明

番号	項目	機能や動作の概要										
①	フラグ(*1)	フラグの有無に連動しチェックマーク(✓)を表示します(なし…チェックなし、あり…チェックあり)。 □部分をクリックするとチェックマークの有無が切り替わります。 チェックマークを利用して、検索条件を絞り込んで選択表示をしたり、並び替えをしたりできます。本欄はお客様の目的に合わせて(例:重要な録音情報はチェックを入れる)、ご自由にお使いください。										
②	取込	各メッセージのダウンロード状態をアイコンで表示します。 <table><tr><th>アイコン</th><th>説明</th></tr><tr><td></td><td>録音情報+音声データ(主装置で再生済)を取込(ダウンロード)済</td></tr><tr><td></td><td>録音情報+音声データ(主装置で未再生)を取込(ダウンロード)済</td></tr><tr><td></td><td>録音情報のみを取込(ダウンロード)済</td></tr><tr><td></td><td>録音情報+音声データを取込(ダウンロード)後に主装置のデータを消去済 (本アプリケーションの操作で主装置の音声メッセージを消去した場合)</td></tr></table>	アイコン	説明		録音情報+音声データ(主装置で再生済)を取込(ダウンロード)済		録音情報+音声データ(主装置で未再生)を取込(ダウンロード)済		録音情報のみを取込(ダウンロード)済		録音情報+音声データを取込(ダウンロード)後に主装置のデータを消去済 (本アプリケーションの操作で主装置の音声メッセージを消去した場合)
アイコン	説明											
	録音情報+音声データ(主装置で再生済)を取込(ダウンロード)済											
	録音情報+音声データ(主装置で未再生)を取込(ダウンロード)済											
	録音情報のみを取込(ダウンロード)済											
	録音情報+音声データを取込(ダウンロード)後に主装置のデータを消去済 (本アプリケーションの操作で主装置の音声メッセージを消去した場合)											
③	再生/未再生	パソコンで音声メッセージを再生したかどうかを表示します。										
④	保護/非保護(*1)	・保護 : 音声ファイルが保護されています。ファイルは消去できません。 ・非保護 : 音声ファイルが保護されていません。										
⑤	BOX番号	音声ファイルが記録されているボックス番号を表示します。 (内線BOX: 数字1〜4桁、留守録BOX: R01〜R48)										
⑥	BOX名称 (*2)	⑤のBOX番号に対応したボックス名称を表示します。情報が無い場合は空欄となります。内線名称のCSVファイルをインポートして名称を取得できます。										
⑦	相手番号(*1)	メッセージを録音した相手の電話番号を表示します。情報が無い場合は空欄となります。										
⑧	相手名称(*1)	メッセージを録音した相手の名称(全角16文字/半角32文字以内)を表示します。非通知の着信はその理由を表示します。情報が無い場合は空欄となります。										
⑨	日時	メッセージが録音された年月日および時刻(年は西暦、時刻は24時間制)を表示します。										
⑩	録音時間	音声メッセージの長さ(時:分:秒)を表示します。										
⑪	タイトル(*1)	録音情報の編集機能で入力したタイトル(全角20文字/半角40文字以内)を表示します。										
⑫	メモ(*1)	録音情報の編集機能で入力したメモ(全角40文字/半角80文字以内)を表示します。										
⑬	ファイル名	音声メッセージのファイル名を表示します。ファイル名には本アプリケーションで作成したフォルダ名以下のパスを付けて表示します。 ・録音情報ファイルと音声ファイルの両方がある場合 : 音声ファイル名 (xxx.aac)を表示します。 ・録音情報だけの場合 : 録音情報ファイル名 (xxx.vminf)を表示します。										

*1: 「録音情報編集」画面で入力・編集ができます。(P3-11ページ)

*2: 「BOX名称編集」画面で入力・編集ができます。(P3-13ページ)

1. はじめに

■システム応答メッセージ

① メッセージ番号	② フラグ	③ アップロード	④ 録音時間	⑤ システム応答メッセージ名称	⑥ ファイル名
001	<input type="checkbox"/>		00:00:30	挨拶のメッセージ	VMU#outou#20 07211136_FRI_A001_0000.aac
002	<input type="checkbox"/>		00:00:16	留守メッセージ1	VMU#outou#20 07211136_FRI_A002_0000.aac
003	<input type="checkbox"/>		00:00:14	留守メッセージ2	VMU#outou#20 07211137_FRI_A003_0000.aac
004	<input type="checkbox"/>		00:00:09	お断りメッセージ	VMU#outou#20 07211137_FRI_A004_0000.aac

表示項目の説明

番号	項目	機能や動作の概要
①	メッセージ番号	メッセージ番号が連番で表示されます。この番号は変更できません。
②	フラグ(*1)	フラグの有無に連動しチェックマーク(✓)を表示します(なし…チェックなし、あり…チェックあり)。 □部分をクリックするとチェックマークの有無が切り替わります。 チェックマークを利用して、検索条件を絞り込んで選択表示できます。本欄はお客様の目的に合わせて(例:重要な録音情報はチェックを入れる)、ご自由にお使いください。
③	アップロード	メッセージのアップロード状態が表示されます。メッセージがボイスメモにアップロードされているときには「済み」が表示されます。
④	録音時間	メッセージの長さ(時:分:秒)を表示します。メッセージが存在しないときには「--:--:--」が表示されます。
⑤	システム応答メッセージ名称(*1)	システム応答メッセージの名称が表示されます。情報がない場合は空欄となります。
⑥	ファイル名	音声メッセージの保存先フォルダとファイル名を表示します。フォルダ名は本アプリケーションで作成したフォルダ名以下のパスを表示します。音声ファイル名(xxx.aac)を表示します。


*1: 「録音情報編集」画面で入力・編集ができます。(P3-11ページ)


1. はじめに


補足説明

- 音声メッセージの一覧表示の各項目は、追加や消去ができます。(☞3-2ページ)
(システム応答メッセージの一覧表示ではできません)
- 録音情報一覧の録音情報を選ぶときは下記の方法があります。
 - ①選択したい録音情報の表示行を左クリックします。ただし、「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので、他の欄の位置でクリックするようにしてください。
キーボードの[Shift]キーを押しながらクリックすると範囲選択ができ、キーボードの[Ctrl]キーを押しながらクリックすると複数選択ができます。
※ダブルクリックすると、「録音情報編集」画面が表示されます。 キャンセル をクリックしてメイン画面に戻ってください。
 - ②右クリックして選ぶこともできます。「フラグ」欄に影響を与えないので誤操作が防止できます。
 - ③キーボードの上下キー(↑ / ↓)を押します。
また、[Shift]キーを押しながらキーボードの上下キー(↑ / ↓)を押すと、連続して複数が選べます。
- 各項目の表示欄について…
 - (1)録音情報一覧を開いたときはBOX 番号の順に表示されます。また、同一 BOX 番号内では日時降順(録音日時の新しいものが上になる)となります。
 - (2)各項目欄をクリックすると、選んでいる項目を対象にして降順/昇順の並び替えを行うことができます。▲は昇順、▼は降順を示します。(システム応答メッセージの一覧表示ではできません)
他のフォルダの一覧を表示したときや、本アプリケーションを再起動したときは、初期状態に戻ります。
※文字表示以外の項目は、昇順にした場合は下記の順序で表示されます。降順は昇順の逆となります。

項目	昇順の表示順序
フラグ	フラグなし → フラグあり
取込	 +  →  +  →  →  + 
再生/未再生	再生済 → 未再生

- (3)表示部の各項目の幅が調整できます。項目名の境界部分にマウスを移動し、 が表示されたらマウスをドラッグして動かして幅を調整してください。境界部分をダブルクリックすると、左側の項目の幅が表示する情報の長さに合わせて最適化されます。本アプリケーションを再起動すると、表示幅は初期状態に戻ります。



保護/非保護	 BOX番号
非保護	101
非保護	101
非保護	101
非保護	102

1. はじめに

設定メニューについて

本アプリケーションを使うための各種設定を行います。

下記の手順で設定します。

- ①メイン画面の **設定** をクリックする。
- ②「設定メニュー」が表示されるので、設定したい項目をクリックする。



■各メニュー項目の説明

項目	機能や動作の概要
ログイン...	主装置にログインするときにクリックします。 「ログイン」画面が表示されます。(☞2-2 ページ)
ログアウト	主装置からログアウトするときにクリックします。(☞2-3 ページ)
起動時のフォルダを指定する...	起動時に前回のフォルダを開くか、指定のフォルダを開くかを設定します。 「起動時のフォルダ指定」画面が表示されます。(☞2-10 ページ)
初期ダウンロードウィザード	ログインからダウンロードまでの一連の操作をウィザード設定できます。(☞2-16 ページ)
ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する...	音声ファイルをダウンロードしたあと、主装置に保存されている対象の音声ファイルを自動消去するかどうかをボックスごとに設定します。(☞3-23 ページ)
常時ダウンロードの設定をする	音声ファイルをボックスごとに自動ダウンロードするときに設定します。「常時ダウンロードの上限件数」や、ダウンロード先のフォルダもあわせて設定します。(☞3-3 ページ)
パソコンの音量を調整する	本アプリケーションの起動中、パソコンのスピーカ音量を変更できます(音声メッセージ再生音量調整のための機能)。(☞2-29 ページ)
ダウンロード先フォルダからデータを移す	ダウンロード先フォルダ内の音声メッセージを新しく作成したフォルダに移動します。 (☞3-24 ページ)
録音情報一覧の表示項目の追加と消去...	録音情報一覧に表示する項目の編集(追加や消去)を行うときにクリックします。 「録音情報表示設定」画面が表示されます。(☞3-2 ページ)
録音情報を編集する...	選択している録音情報を編集するときにクリックします。 「録音情報編集」画面が表示されます。(☞3-11 ページ)
ボックス名称を編集する...	留守録 BOX や内線 BOX の名称(録音情報一覧の「BOX 名称」欄に表示する名称)を編集するときにクリックします。 「BOX 名称編集」画面が表示されます。(☞3-13 ページ)
ボックスフォルダを作成する...	音声メッセージを移動・コピーするための専用のボックスフォルダを作成するときにクリックします。 「ボックスフォルダ作成」画面が表示されます。(☞3-6 ページ)
ボックスフォルダ名称を変更する...	上記のボックスフォルダの名称を変更するときにクリックします。 「ボックスフォルダ名称変更」画面が表示されます。(☞3-7 ページ)
一覧表をエクスポートする...	録音情報の一覧表を CSV 形式でエクスポートするときにクリックします。 「エクスポート設定」画面が表示されます。(☞3-15 ページ)
内線ボックス名称をインポートする...	専用の「電話帳／履歴管理アプリケーション」を使って保存した内線電話帳データを内線ボックス名称登録用にインポートするときにクリックします。 「インポート設定」画面が表示されます。(☞3-17 ページ)
自動バックアップの設定をする...	自動バックアップに関する設定をするときにクリックします。 「自動バックアップの設定」画面が表示されます。(☞3-19 ページ)

2. 基本操作

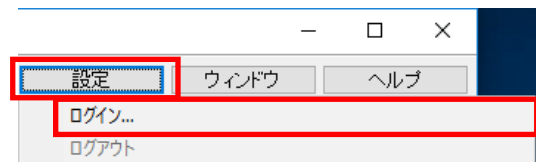
2. 基本操作

ログイン

ボイスメモに各種メッセージをダウンロード、アップロードするときや、ボイスメモ内の音声メッセージを消去するときは、主装置にログインする必要があります。

■ログインする ダウンロード、アップロード時は必須

1 本アプリケーションを起動し、設定メニューの「ログイン...」をクリックする



2 「ログイン」画面となるので、「主装置のIPアドレス」、「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックする

・主装置のIPアドレス:

データ設定用電話機のメニューから、「**0**その他」→「**4**システム管理」→「**1**システム情報」→「**00**主装置情報」を選ぶと確認できます。

「IP: 192.168.001.100」(例)と表示されます。

この場合は、「192.168.1.100」と入力します(「192.168.001.100」と入力もできます)。

・ユーザー名: 「system」と入力します。

・パスワード: データ設定用電話機のメニューで、「**0**その他」→「**5**パスワード」→「**1**ユーザー用パスワード登録」で登録したパスワードです(初期値:0000)。

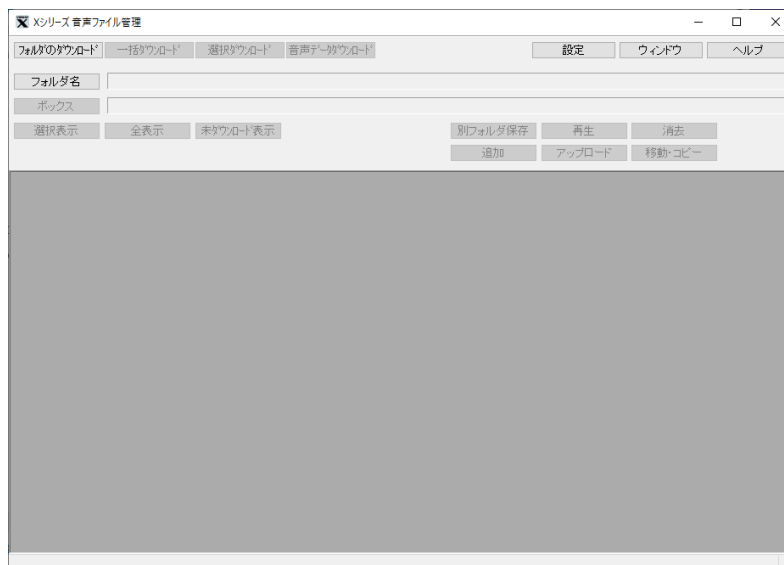
パスワードがわからない場合は、販売店・工事店にお問い合わせください。

※はじめてログインする場合は空欄となっていますので、すべての欄に入力してください。

※「アドレス、ユーザー名、パスワードを記憶する」にチェックを入れておくと、次回にログインするときに各項目の入力が不要になります。記憶させたくない場合は、チェックを外してください。自動バックアップ機能をご利用になる場合はチェックを入れてください。

※主装置でパスワードが「なし」に設定されている場合、パスワード欄には「0000」と入力してください。

3 ログインすると以下の画面が表示されます



2. 基本操作

■ログアウトする

1 設定メニューの「ログアウト」をクリックする

補足説明

- ログインの状態です約 20 分間主装置との通信(ボイスメモからのダウンロードなど)がない場合や、本アプリケーションを終了した場合は自動的にログアウトします。
- フォルダのダウンロードが実行されている場合は、「一括ダウンロード」や「選択ダウンロード」の表示でログイン中かどうかわかります。
 - ・ログイン中: 通常の表示(操作できます)
 - ・ログアウト中: グレーアウト表示(操作できません)
- 未入力や間違いがある場合は、エラー画面が表示されます。「OK」をクリックし、やり直してください。

エラー画面の表示	原因と対応方法
IP アドレスを入力してください。 ユーザー名を入力してください。 パスワードを入力してください。	IP アドレスが入力されていない → IP アドレスを入力してください。 ユーザー名が入力されていない → ユーザー名を入力してください。 パスワードが入力されていない → パスワードを入力してください。
入力値エラーです。	ユーザー名が間違っています → 「system」と入力してください。
ログインに失敗しました。	①パスワードが間違っています → パスワードを確認してやり直してください。 ②主装置が処理中のためアクセスできない状態 → しばらく待ってからやり直してください。それでもなお、アクセスできない場合は、販売店・工事店にお問い合わせください。
接続に失敗しました。	①IP アドレスが間違っています → IP アドレスを確認し、正しい IP アドレスを入力してください。 ②主装置とパソコン間の通信エラーが発生 → LAN ケーブルなどの接続に問題がないか確認してください。 ③すでにログイン中のパソコンがある → しばらく待ってからやり直してください。
この主装置には対応しておりません。対応しているアプリケーションをご使用ください。	主装置が X シリーズでない → 本アプリケーションは X シリーズ専用です。他のシリーズの主装置をご使用の場合には、対応しているアプリケーションが必要になります。

2. 基本操作

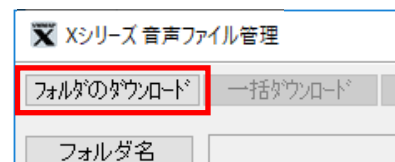
ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード

[1]ダウンロード先フォルダを設定・削除する

■ダウンロード先フォルダを作成する 必須

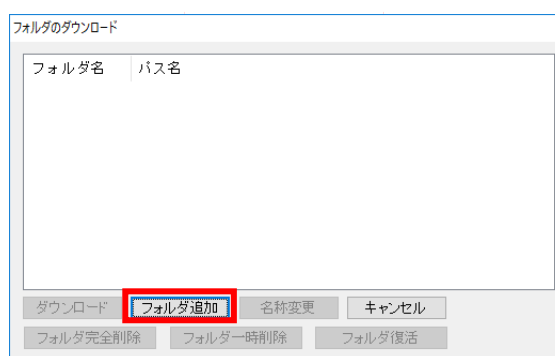
ボイスメモから各種メッセージをダウンロードするためのダウンロード先のフォルダを作成します。はじめて本アプリケーションを使うときは、必ず行ってください。フォルダを作成したあと、フォルダのダウンロードをする場合(☞2-9ページ)は、あらかじめ主装置にログインしておいてください。

1 主装置にログインし、メイン画面の フォルダのダウンロード をクリックする



2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、フォルダ追加 をクリックする

- ※すでに作成されたフォルダがあると、フォルダ名およびパス名が表示されます。
- ※フォルダのダウンロード(☞2-9ページ)を実施したフォルダは、パス名の先頭に「*」が表示されます。
- ※中止する場合は キャンセル をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

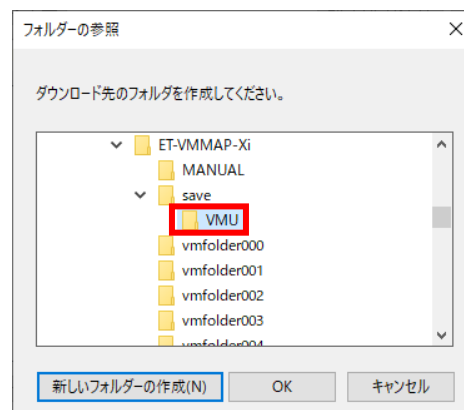


3 「フォルダーの参照」画面となるので、ダウンロード先のフォルダを指定して OK をクリックする

- ※初回はインストール時に作成された「VMU」フォルダが指定されます。2回目以降は、前回指定したフォルダが指定されます(名称変更/削除時を除く)。
- ※別のダウンロードフォルダを作成するときは、下記の操作を行います。

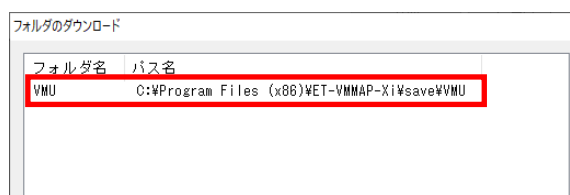
- ①フォルダを作成する場所を選ぶ。
(ここで作成するフォルダも本アプリケーション専用のフォルダとしてください。また、本アプリケーションがインストールされているパソコンのハードディスクに作成してください。)
- ② 新しいフォルダーの作成(N) をクリックする(選んだフォルダに新しいフォルダが作成されます)。
- ③「新しいフォルダ」が作成されるので、右クリックし「名前の変更」を選んで名前を変更する。
「DL_」「BU_」で始まる名前は付けないでください。
- ④フォルダを指定し、OK をクリックする。

- ※中止する場合は キャンセル をクリックしてください。「フォルダのダウンロード」画面に戻ります。



4 「フォルダのダウンロード」画面に指定したフォルダが追加される

- ※終了する場合は キャンセル をクリックしてください。メイン画面に戻ります。
- ※続けてフォルダのダウンロードを行う場合は、ダウンロード先フォルダを選び、ダウンロード をクリックしてください。(☞2-9ページ)



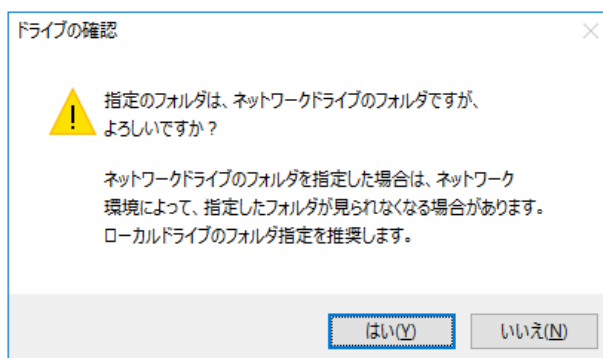
2. 基本操作

ご注意

- 手順3「フォルダーの参照」画面で、ネットワークドライブのフォルダを指定して、**OK** をクリックすると、右の確認画面が表示されます。ネットワークの環境によって、指定されたフォルダが見られなくなる場合がありますので、ローカルドライブのフォルダ指定を推奨します。

※続ける場合は **はい(Y)** をクリックしてください。

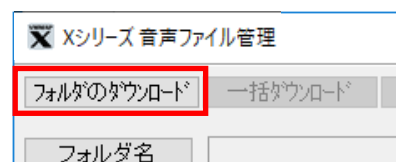
いいえ(N) をクリックすると、前の画面に戻ります。



■ダウンロード先フォルダのフォルダ名を変更する

設定したダウンロード先フォルダの名前を変更できます。必要なときに行ってください。

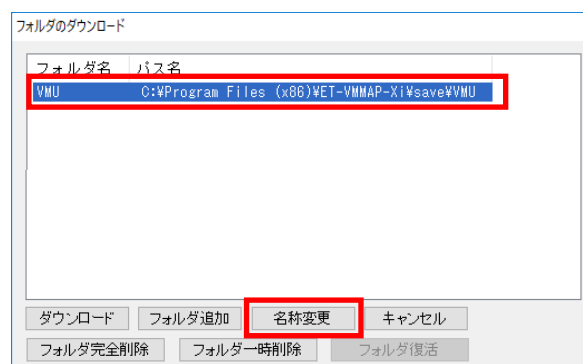
- 1 主装置にログインし、メイン画面の **フォルダのダウンロード** をクリックする



- 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、名前を変更したいフォルダを選び、**名称変更** をクリックする

※フォルダのダウンロード(☞2-9ページ)を実施したフォルダ(パス名の先頭に「*」を表示)も名称変更できます。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。
メイン画面に戻ります。

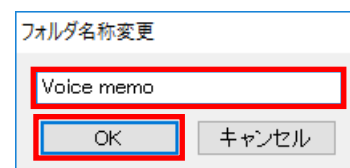


- 3 「フォルダ名称変更」画面となるので、新しい名前を入力し、**OK** をクリックする

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。

手順2の画面に戻ります。

※「DL_」、「BU_」で始まる名前は付けないでください。

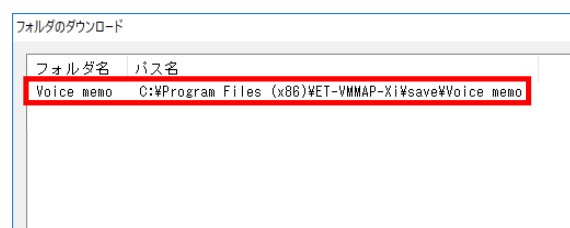


- 4 「フォルダのダウンロード」画面のフォルダ名とパスが変更した内容に変更される

※終了する場合は **キャンセル** をクリックしてください。

メイン画面に戻ります。

※続けてフォルダのダウンロードを行う場合は、ダウンロード先フォルダを選び、**ダウンロード** をクリックしてください。
(☞2-9ページ)



2. 基本操作

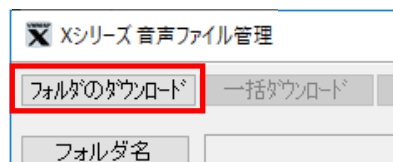
■ダウンロード先フォルダを削除する

設定したダウンロード先フォルダを完全削除/一時削除/復活できます。必要なときに行ってください。

<ダウンロード先フォルダの完全削除>

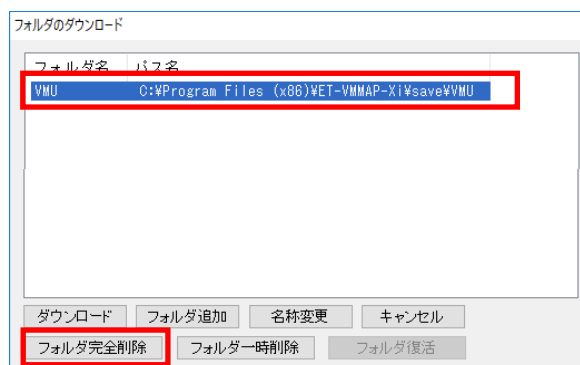
設定したダウンロード先フォルダを完全削除できます。ただし、フォルダのダウンロード(2-9 ページ)または各種メッセージのダウンロード(2-12 ページ)を実施したフォルダは削除できません。いったん削除すると復活できませんのでご注意ください。

- 1 主装置にログインし、メイン画面の **フォルダのダウンロード** をクリックする



- 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、削除したいフォルダを選び、**フォルダ完全削除** をクリックする

※フォルダのダウンロード(2-9ページ)を実施したフォルダ(パス名の先頭に「*」を表示)は、削除できません。
※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 「削除の確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

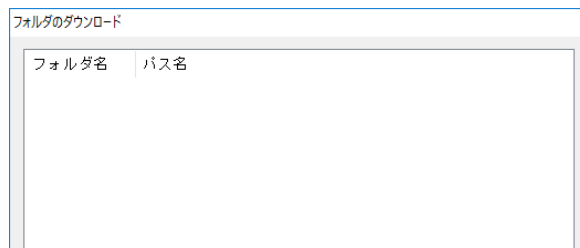
※やり直す場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「削除の再確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。手順2の画面に戻ります。

- 5 削除が完了すると「フォルダのダウンロード」画面から対象フォルダが削除される

※終了する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



ご注意

- 本章の「■ダウンロード先のフォルダを作成する」の手順3で、“ここで作成するフォルダも本アプリケーション専用のフォルダとしてください。”と説明していますが、すでに存在しているフォルダを指定した場合、そのフォルダの直下のフォルダが「ファイルのダウンロード」画面にすべて表示されます。フォルダの構成によっては「フォルダのダウンロード」画面で削除できます。フォルダを削除するとフォルダ内のデータも削除されます。ゴミ箱には残りませんので注意してください。

2. 基本操作

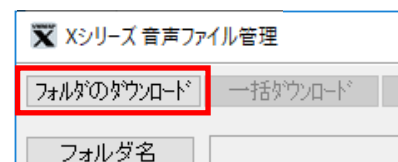
<ダウンロード先フォルダの一時削除>

設定したダウンロード先フォルダを一時削除できます。

ただし、フォルダのダウンロード(☞2-9 ページ)または各種メッセージのダウンロード(☞2-12 ページ)を実施したフォルダは削除できません。

一時削除されたフォルダは、復活できます。(☞2-8 ページ)

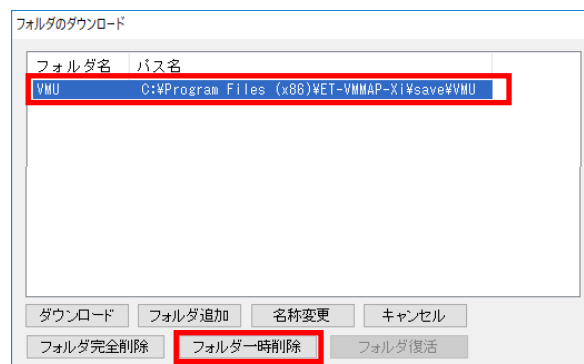
- 1 主装置にログインし、メイン画面の **フォルダのダウンロード** をクリックする



- 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、一時削除したいフォルダを選び、**フォルダー一時削除** をクリックする

※フォルダのダウンロード(☞2-9ページ)を実施したフォルダ(パス名の先頭に「*」を表示)は、一時削除できません。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

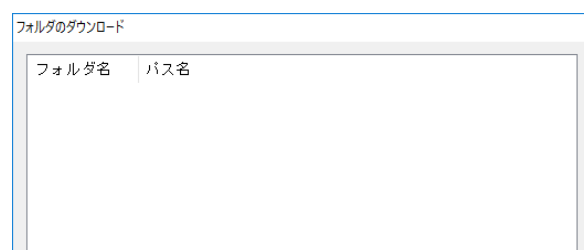


- 3 「削除の確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。手順2の画面に戻ります。

- 4 一時削除が完了すると「フォルダのダウンロード」画面から対象フォルダが削除される

※終了する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



ご注意

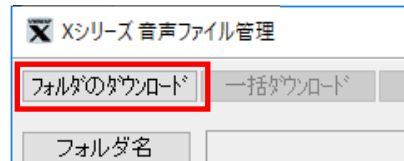
- 一時削除されたフォルダを完全削除する場合は、フォルダをいったん復活(☞2-8 ページ)させてから完全削除(☞2-6 ページ)してください。

2. 基本操作

<ダウンロード先フォルダの復活>

一時削除(☞2-7 ページ)したダウンロード先フォルダを復活できます。

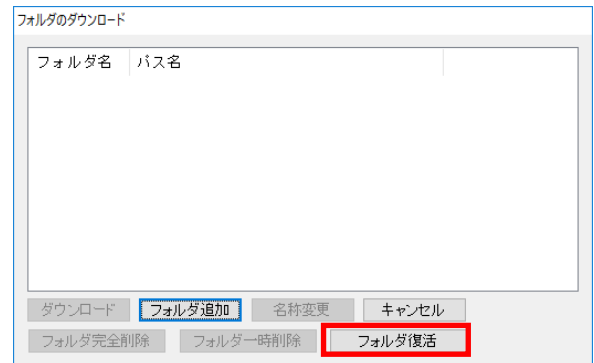
- 1 主装置にログインし、メイン画面の **フォルダのダウンロード** をクリックする



- 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、**フォルダ復活** をクリックする

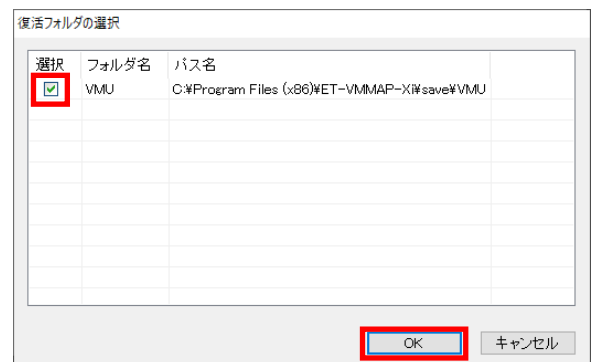
※一時削除されたフォルダが無い場合は、**フォルダ復活** はグレイアウトになります。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。
メイン画面に戻ります。



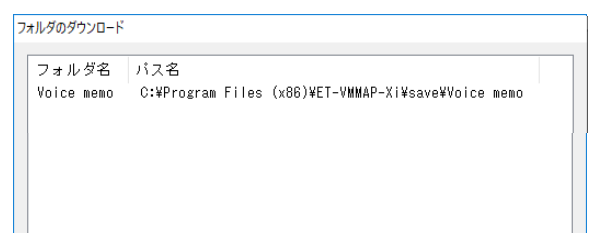
- 3 「復活フォルダの選択」画面となり、フォルダの一覧が表示されるので、復活したいフォルダの左欄のチェックボックスを選び、**OK** をクリックする

※やり直す場合は **キャンセル** をクリックしてください。
手順2の画面に戻ります。



- 4 フォルダの復活が完了したら、復活したフォルダが表示された「フォルダのダウンロード」画面に戻る

※終了する場合は **キャンセル** をクリックしてください。
メイン画面に戻ります。



2. 基本操作

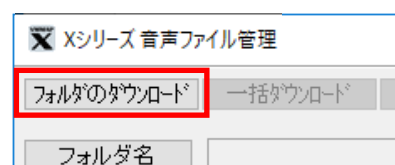
[2]ボイスメモのフォルダをダウンロードする

必須

ダウンロード先のフォルダを作成したら、フォルダのダウンロードを行います。はじめて本アプリケーションを使うときは、必ず実施してください。フォルダのダウンロードを行うと、パソコン内にボイスメモのボックスと同じ構成のボックスフォルダが作成されます。

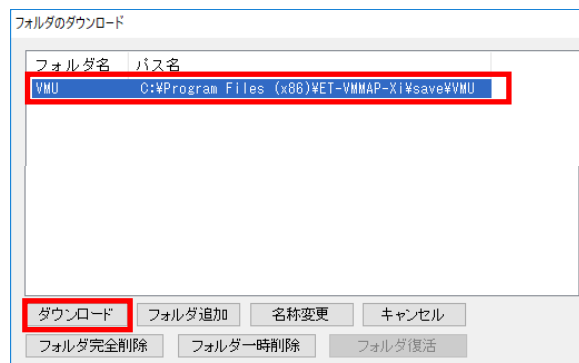
※主装置の設定「ボックス毎の音声ファイル管理アプリケーション使用有無」を「なし」にしたボックスは、対象のボックスフォルダを作成しないようにも設定できます。詳しくは販売店・工事店にご確認ください。

- 1 主装置にログインし、メイン画面の **フォルダのダウンロード** をクリックする



- 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、ダウンロード先のフォルダを選び、**ダウンロード** をクリックする

※ **ダウンロード** がグレイアウトしているときは、ログアウトしていますので、ログインしてください。
※フォルダのダウンロードを実施すると、パス名の先頭に「*」が表示されます。
※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 「ダウンロード確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。手順1の画面に戻ります。ボックスフォルダは作成されません。

- 5 「ダウンロード完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックする

- 6 メイン画面に戻る

※ **フォルダ名** の右枠には、手順2で選んだフォルダが表示されます。

補足説明

- フォルダのダウンロードを実施してあるフォルダに再度フォルダのダウンロードを実施すると、パソコン内に存在しないボックスフォルダだけが追加されます。ボイスメモに存在しないボックス番号のフォルダは削除されずそのまま残ります。
- 使用しているかどうかにかかわらず、ボイスメモで指定されたすべてのフォルダが作成されます。

ご注意

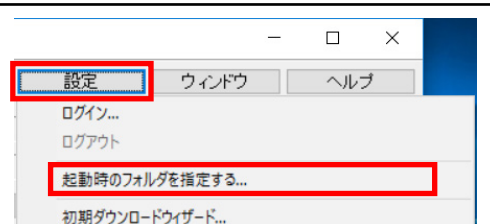
- 主装置の内線番号を変更したときは、内線BOXのBOX番号も変更になります。フォルダのダウンロードをやり直してください。なお、内線番号の変更があった場合、ダウンロード先のフォルダを新規に作成することを強くおすすめします。これまでとは別のフォルダを作成してください。(2-4 ページ)
また、主装置の設定「ボックス毎の音声ファイル管理アプリケーション使用有無」を変更したときも、フォルダのダウンロードをやり直してください。

2. 基本操作

[3] 起動時のフォルダを指定する

本アプリケーションを起動したときに開くフォルダを設定できます。ダウンロード先フォルダをいくつか作成している場合など、必要に応じて設定してください。初期設定は「起動時に前回のフォルダを開く」になっています。

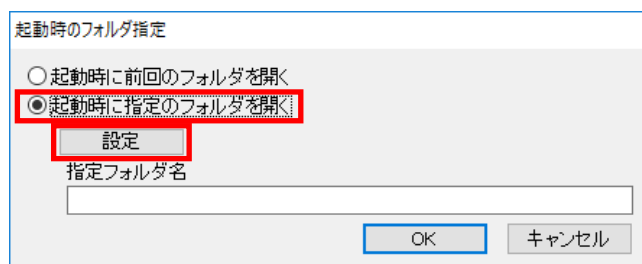
1 設定メニューの「起動時のフォルダを指定する...」をクリックする



2 「起動時のフォルダ指定」画面となるので、「起動時に指定のフォルダを開く」を選び、「設定」をクリックする

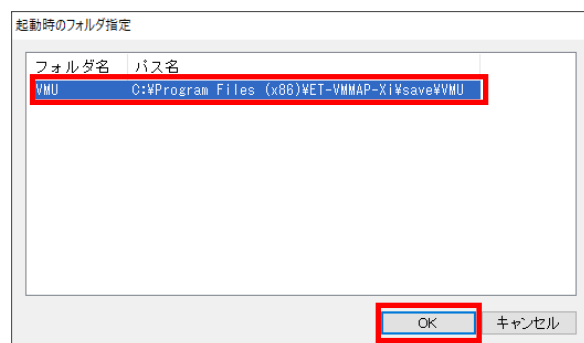
※すでにフォルダの指定がある場合は、「起動時に指定のフォルダを開く」がチェックされ、「指定フォルダ名」にフォルダ名が表示されます。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



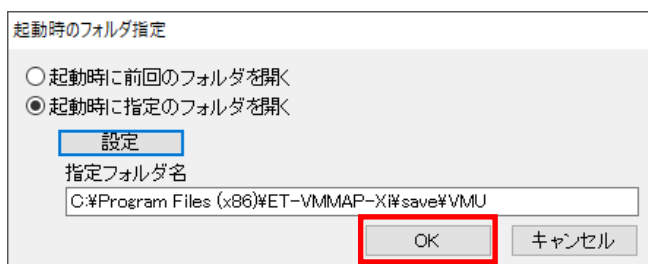
3 フォルダを選ぶ画面となるので、フォルダを選び、「OK」をクリックする

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。手順2の画面に戻ります。



4 「指定フォルダ名」欄に手順3で選んだフォルダ名が表示されるので、「OK」をクリックして終了する

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



補足説明

- 「起動時に前回のフォルダを開く」に設定してアプリケーションを起動すると、フォルダおよびボックスの録音情報一覧は前回に終了したときの状態で表示されます。
- 「起動時に指定のフォルダを開く」に設定してアプリケーションを起動すると、指定したフォルダの録音情報一覧を表示していたときは、そのフォルダとボックスの録音情報一覧は前回に終了したときの状態で表示されます。別のフォルダの録音情報一覧を表示していたときは、フォルダだけが指定され、録音情報一覧は表示されません。 **ボックス** をクリックし、ボックスを指定してください。
- 「起動時に指定のフォルダを開く」の状態から「起動時に前回のフォルダを開く」に変更したあとに、「起動時に指定のフォルダを開く」に戻したときは、フォルダを再び指定する必要があります。

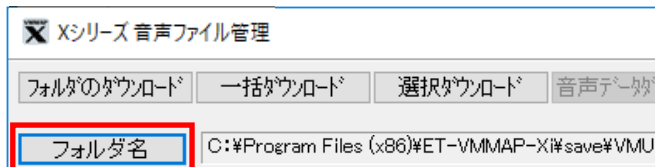
2. 基本操作

[4]ダウンロード先や録音情報を表示するフォルダを変更する

本アプリケーションではダウンロード先フォルダをいくつか設定できます。例えば、年や月の期間ごとにダウンロード先フォルダを変更し、録音情報を管理するといった使い方ができます。ダウンロード先フォルダをいくつか設定している場合は、下記の操作でフォルダを変更してください。

1 メイン画面の **フォルダ名** をクリックする

※ **フォルダ名** の右枠には、現在指定しているフォルダ名が表示されます。



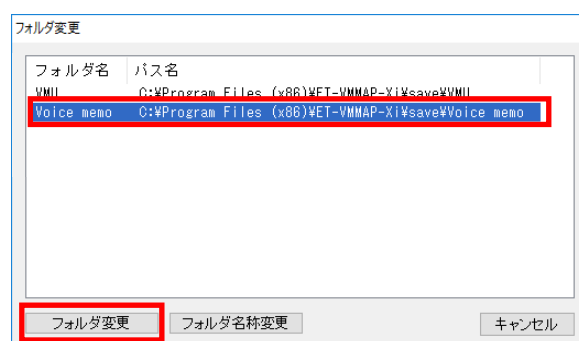
2 「フォルダ変更」画面となるので、フォルダを指定し、**フォルダ変更** をクリックする

※フォルダのダウンロード(☞2-9ページ)を行っていないフォルダは表示されません。

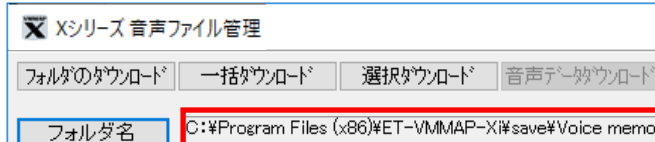
※各種メッセージをダウンロードしていないフォルダは、パス名の先頭に「*」が表示されます。ダウンロードしているフォルダには「*」が表示されません。

※ **フォルダ名称変更** をクリックすると、フォルダ名を変更できます。「フォルダ名称変更」画面が表示されますので、フォルダ名称を変更して **OK** をクリックしてください。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3 メイン画面に戻るので、**フォルダ名** の右枠が手順2で指定したフォルダ名に変更されていることを確認する



補足説明

- ダウンロード先フォルダの作成方法は、「■ダウンロード先フォルダを作成する」(☞2-4 ページ)をご覧ください。
- 各種メッセージのダウンロード先フォルダの指定は **フォルダ名** で行いますが、ボイスメモ内のフォルダをダウンロードするときのダウンロード先の指定は **フォルダのダウンロード**で行います。(☞2-9 ページ)

2. 基本操作

各種メッセージのダウンロード

[1]すべてのボックスを一括ダウンロードする

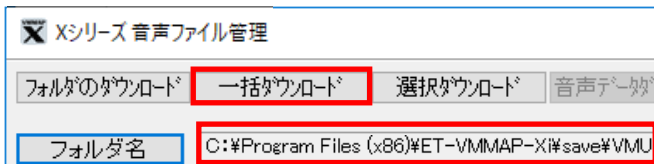
すべてのボックスのダウンロード時は必須

ボイスメモに録音されているすべての留守録BOX・内線BOXの録音情報／音声ファイルと、システム応答メッセージをダウンロードします。

録音情報、音声ファイルとシステム応答メッセージを同時にダウンロードするモードと、録音情報だけをダウンロードするモードを選べます。録音情報だけをダウンロードした場合でも、音声ファイルはあとからダウンロードできます。

1 主装置にログインし、メイン画面の **フォルダ名** の右枠に表示されているフォルダが、ダウンロード先のフォルダであることを確認し、**一括ダウンロード** をクリックする

※フォルダを変更する場合は **フォルダ名** をクリックしてください。(☞2-11ページ)



2 「ダウンロード種別」画面となるので、次のどちらかのボタンをクリックする

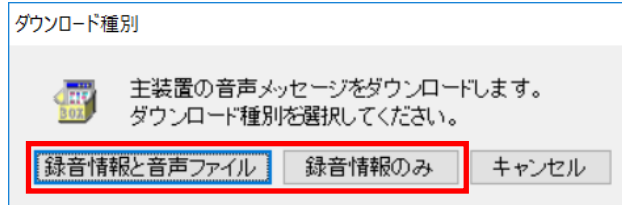
録音情報と音声ファイル :

録音情報、音声ファイル、システム応答メッセージを同時にダウンロードします。

録音情報のみ :

録音情報だけをダウンロードします。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3 「ダウンロード確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。手順2の画面に戻ります。

4 「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※すでにダウンロードされているメッセージはダウンロードされません。

※ダウンロードを中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。ダウンロードが完了したファイルはパソコン内に保存されます。

5 「ダウンロード完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

2. 基本操作

[2] ボックスを選んでダウンロードする

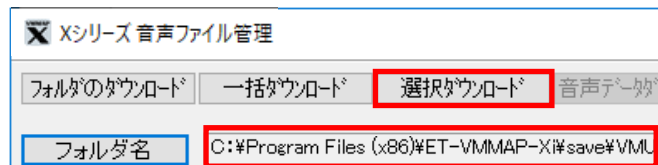
ボックスを選んでダウンロードする時は必須

留守録BOX・内線BOXの録音情報／音声ファイルと、システム応答メッセージを選んでダウンロードします。

録音情報と音声ファイルを同時にダウンロードするモードと、録音情報だけをダウンロードするモードを選べます(システム応答メッセージには録音情報はありません)。録音情報だけの場合、音声ファイルはあとからダウンロードできます。

- 1 主装置にログインし、メイン画面の **フォルダ名** の右枠に表示されているフォルダが、ダウンロード先のフォルダであることを確認し、**選択ダウンロード** をクリックする

※フォルダを変更する場合は **フォルダ名** をクリックしてください。(☞2-11ページ)



- 2 「ボックス/システム応答メッセージ選択」画面となるので、ダウンロードしたいメッセージ種別とBOX番号を選び、どちらかのダウンロードボタンをクリックする

ダウンロードするメッセージを選ぶ

BOX選択: 各ボックスに録音されているメッセージをダウンロードする場合に設定します。BOX番号も選びます。

システム応答メッセージ: システム応答メッセージをダウンロードする場合に設定します。

録音情報と音声ファイル: 録音情報と音声ファイルを同時にダウンロードします。

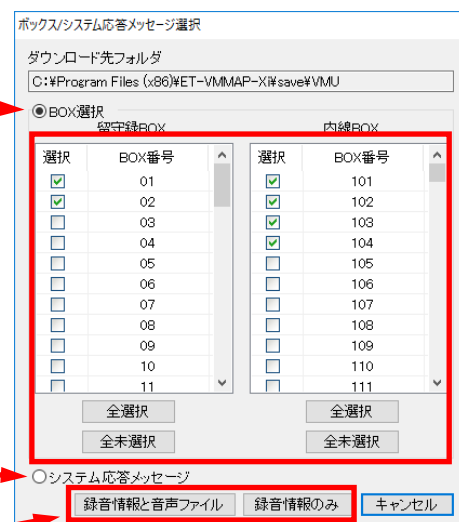
録音情報のみ: 録音情報だけをダウンロードします。

全選択: すべてのボックスが選択されます。

全未選択: すべてのボックスが未選択となります。

※音声メッセージ移動・コピー専用で作成したボックス(☞3-6ページ)は表示されません。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 「ダウンロード確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。「ボックス/システム応答メッセージ選択」画面に戻ります。

- 4 「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※すでにダウンロードされているメッセージはダウンロードされません。

※ダウンロードを中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。ダウンロードが完了したボックスのファイルはパソコン内に保存されます。

- 5 「ダウンロード完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

2. 基本操作

ご注意

- メッセージを主装置からダウンロードしたあとで以下の操作をした場合、その録音情報は本アプリケーションに反映できません。
 - ・主装置でメッセージの名称を変更した
 - ・主装置でメッセージを再生したダウンロードしたあとは、必ず本アプリケーションで名称を変えるか、データを消去(☞2-31 ページ)してもう一度ダウンロードしてください。
- ダウンロードフォルダ内の音声メッセージの数が、20000 件を超えると、確認画面が表示されます。これまでのメッセージを新しいフォルダに移動する場合には、**はい(Y)** をクリックしてください。**いいえ(N)** をクリックすると、新しいフォルダを作成しません。この場合、アプリケーションの動作が遅くなったりする場合がありますので、ダウンロードしたメッセージを確認後、手動でフォルダを移動してください(☞3-24 ページ)。手動で移動しない場合は、**はい(Y)** をクリックしてください。

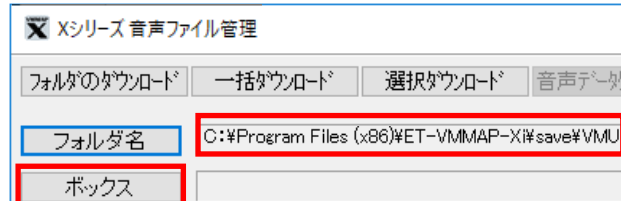
[3] 録音情報をダウンロードしたあとに音声ファイルをダウンロードする

録音情報のみダウンロード時は必須

録音情報だけをダウンロードした場合でも、あとから音声ファイルをダウンロードできます(システム応答メッセージでは機能しません)。

1 主装置にログインし、メイン画面の **フォルダ名** の右枠に表示されているフォルダが、ダウンロード先のフォルダであることを確認し、**ボックス** をクリックする

※フォルダを変更する場合は **フォルダ名** をクリックしてください。(☞2-11ページ)

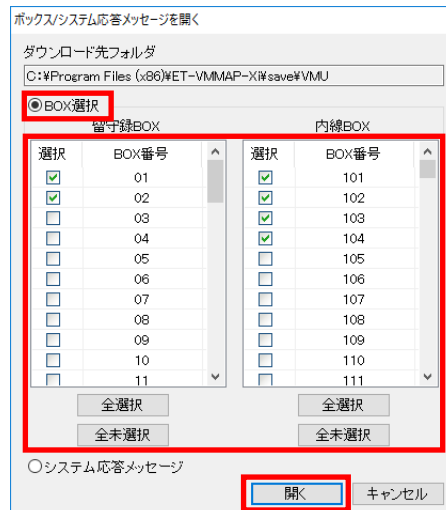


2 「ボックス/システム応答メッセージを開く」画面となるので、「BOX選択」を選び、録音情報一覧を開くBOXにチェックを入れ、**開く** をクリックする

全選択 : すべてのボックスが選択されます。


全未選択 : すべてのボックスが未選択となります。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

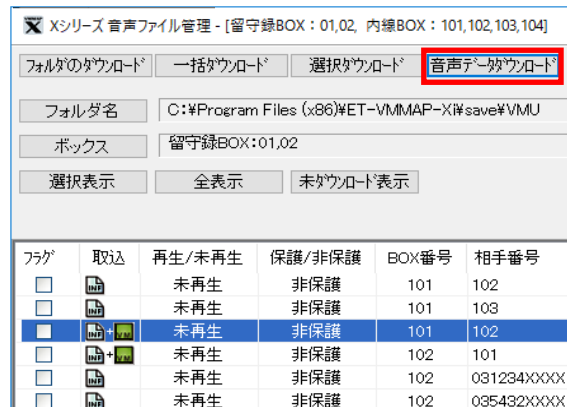


2. 基本操作

3 メイン画面の録音情報一覧で音声ファイルをダウンロードしたい行を選び、「音声データダウンロード」をクリックする

※「取込」欄のアイコンが  になっている行は、音声ファイルがダウンロードされていません。

※録音情報一覧をクリックすると行が選ばれます。複数の行を選ぶこともできます。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

4 「ダウンロード確認」画面が表示されるので、「はい(Y)」をクリックする

※中止する場合は 「いいえ(N)」 をクリックしてください。メイン画面(手順3の状態)に戻ります。

5 「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※すでにダウンロードされているメッセージはダウンロードされません。

※ダウンロードを中止する場合は 「キャンセル」 をクリックしてください。ダウンロードが完了したボックスのファイルはパソコン内に保存されます。

6 「ダウンロード完了」画面が表示されたら、「OK」をクリックしてメイン画面に戻る

補足説明

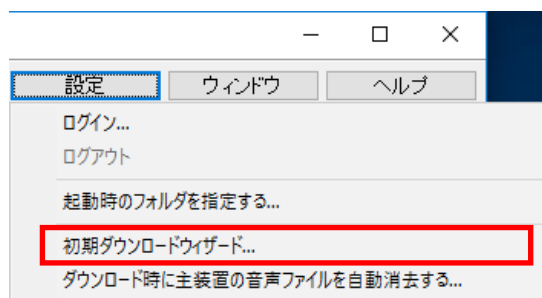
- 音声ファイルをダウンロードしていない録音情報がある場合は、手順3でメイン画面の 「未ダウンロード表示」 がアクティブ表示となります。このボタンをクリックすると、音声ファイルをダウンロードしていない録音情報だけを表示できます。
「全表示」 をクリックするとすべてが表示されます。
- システム応答メッセージの一覧表示では、「未ダウンロード表示」 はグレーアウトされ、動作できません。

2. 基本操作

[4] 初期ダウンロードウィザードでダウンロードする

ログインからダウンロードまでの一連の操作をウィザード形式で設定できます。

1 設定メニューの「初期ダウンロードウィザード...」をクリックする



2 「ログイン」画面となるので、「主装置のIPアドレス」、「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックする

・すでにログイン中のとき、本ステップはスキップされます。

・主装置のIPアドレス:

データ設定用電話機のメニューから、「**0** その他」→「**4** システム管理」→「**1** システム情報」→「**00** 主装置情報」を選ぶと確認できます。

「IP: 192.168.001.100」(例)と表示されます。

この場合は、「192.168.1.100」と入力します(「192.168.001.100」と入力もできます)。

・ユーザー名: 「system」と入力します。

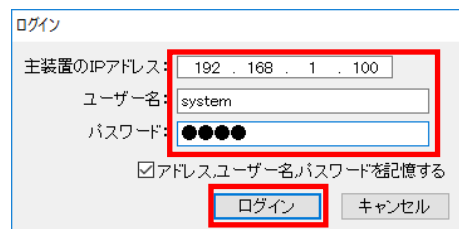
・パスワード: データ設定用電話機のメニューで、「**0** その他」→「**5** パスワード」→「**1** ユーザー用パスワード登録」で登録したパスワードです(初期値:0000)。

パスワードがわからない場合は、販売店・工事店にお問い合わせください。

※はじめてログインする場合は空欄となっていますので、すべての欄に入力してください。

※「アドレス、ユーザー名、パスワードを記憶する」にチェックを入れておくと、次回にログインするときに各項目の入力が不要になります。記憶させたくない場合は、チェックを外してください。自動バックアップ機能をご利用になる場合はチェックを入れてください。

※主装置でパスワードが「なし」に設定されている場合、パスワード欄には「0000」と入力してください。



これ以降は、条件によって以下の手順に進んでください。

■ダウンロード先のフォルダが指定されていないとき ➡ 2-17 ページの手順3

■すでにダウンロード先のフォルダが指定されているが、フォルダのダウンロードが行われていないとき ➡ 2-19 ページの手順3

■すでにダウンロード先のフォルダが指定されていて、フォルダのダウンロードが行われているとき ➡ 2-20 ページの手順3

2. 基本操作

■ダウンロード先フォルダ指定、フォルダのダウンロードが行われていないとき

2-16 ページの手順2(すでにログイン中のときは手順1)のあとに続けて以下の操作を行います。

3 「フォルダーの参照」画面となるので、ダウンロード先のフォルダを指定して **OK** をクリックする

※初回はインストール時に作成された「VMU」フォルダが指定されます。2回目以降は、前回指定したフォルダが指定されます(名称変更/削除時を除く)。

※別のダウンロードフォルダを作成するときは、下記の操作を行います。

①フォルダを作成する場所を選ぶ。

(ここで作成するフォルダも本アプリケーション専用のフォルダとしてください。また、本アプリケーションがインストールされているパソコンのハードディスクに作成してください。)

② **新しいフォルダーの作成(N)** をクリックする(選んだフォルダに「新しいフォルダー」が作成されます)。

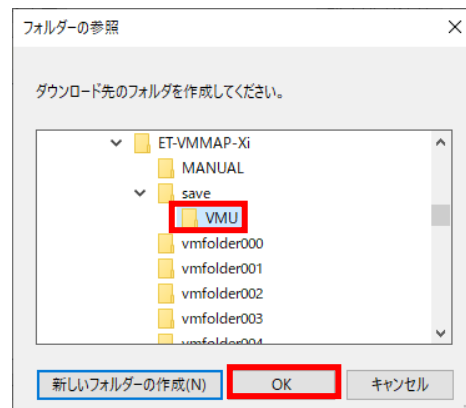
③ 作成された「新しいフォルダー」を、右クリックし「名前の変更」を選んで名前を変更する。

「DL_」、「BU_」で始まる名前は付けないでください。

④ フォルダを指定し、**OK** をクリックする。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。

「ウィザード終了画面」(☞2-20ページ「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。



4 「フォルダのダウンロード」画面となるので、**OK** をクリックする

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。「ウィザード終了画面」(☞2-20ページ「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。

※ダウンロード先のフォルダを変更するとき

① **フォルダ変更** をクリックする。

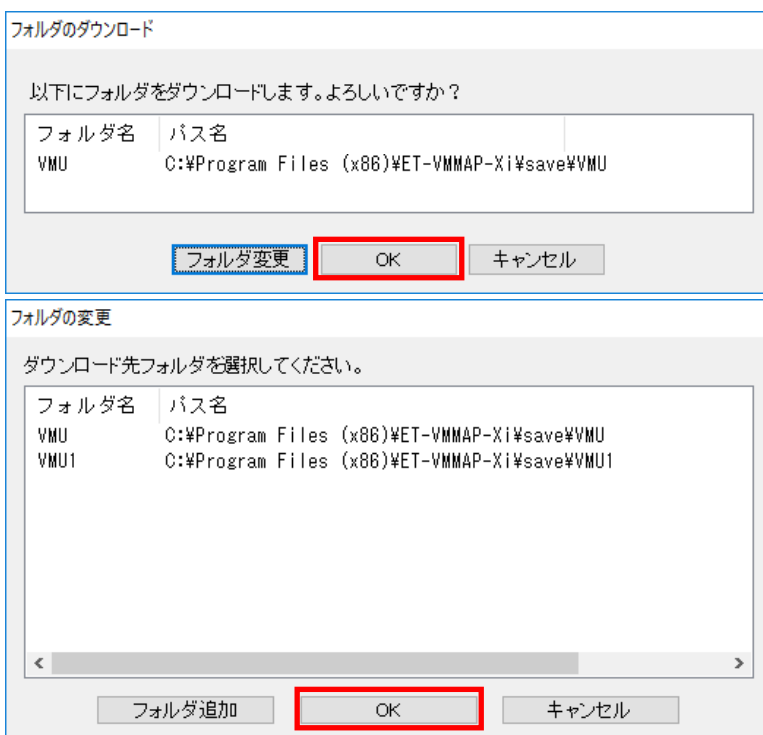
② 右記の「フォルダの変更」画面となるので、ダウンロード先のフォルダを選択して、**OK** をクリックする。

→「フォルダのダウンロード」画面に戻ります。

◆中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。「ウィザード終了画面」(☞2-20ページ「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。

※別のフォルダを指定するときは、

フォルダ追加 をクリックしてください。
手順3に戻ります。



5 「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。「ウィザード終了画面」(☞2-20ページ「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。

2. 基本操作

6 「ダウンロード完了」画面が表示されたら、**次へ** をクリックする

7 「音声メッセージダウンロード方法選択」画面となるので、次のどちらかのボタンをクリックする

一括ダウンロード :

留守録BOX、内線BOX内にあるすべての録音情報／音声ファイルと、システム応答メッセージをダウンロードします。→**手順8-1へ**

選択ダウンロード :

メッセージを選んでダウンロードします。
→**手順8-2へ**

音声メッセージダウンロード方法選択

一括ダウンロードか選択ダウンロードかを選択してください。

一括ダウンロード

選択ダウンロード

キャンセル

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。「ウィザード終了画面」(☞2-20ページ「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。

8-1 「ダウンロード種別」画面となるので、次のどちらかのボタンをクリックする

録音情報と音声ファイル :

録音情報、音声ファイル、システム応答メッセージを同時にダウンロードします。→ **手順9へ**

録音情報のみ :

録音情報だけをダウンロードします。→ **手順9へ**

ダウンロード種別



主装置の音声メッセージをダウンロードします。
ダウンロード種別を選択してください。

録音情報と音声ファイル

録音情報のみ

キャンセル

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。「ウィザード終了画面」(☞2-20ページ「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。

8-2 「ボックス/システム応答メッセージ選択」画面となるので、ダウンロードしたいメッセージ種別とBOX番号を選び、どちらかのダウンロードボタンをクリックする

ダウンロードするメッセージを選ぶ

BOX選択: 各ボックスに録音されているメッセージをダウンロードする場合に設定します。BOX番号も選びます。

システム応答メッセージ: システム応答メッセージをダウンロードする場合に設定します。

録音情報と音声ファイル : 録音情報と音声ファイルを同時にダウンロードします。

録音情報のみ : 録音情報だけをダウンロードします。

全選択 : すべてのボックスが選択されます。

全未選択 : すべてのボックスが未選択となります。

※音声メッセージ移動・コピー専用で作成したボックス(☞3-6ページ)は表示されません。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。「ウィザード終了画面」(☞2-20ページ「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。

ボックス/システム応答メッセージ選択

ダウンロード先フォルダ

C:\Program Files (x86)\ET-VMIMAP-X\save\VMU

◎BOX選択

留守録BOX

内線BOX

選択

BOX番号

選択

BOX番号

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

全選択

全未選択

2. 基本操作

9 「ダウンロード確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。手順8-1または8-2の画面に戻ります。

10 「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※すでにダウンロードされているメッセージはダウンロードされません。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。ダウンロードが完了したファイルは保存され、「ウィザード終了画面」(☞2-20ページ「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。

11 「ダウンロード完了」画面が表示されたら、**完了** をクリックする

12 「ウィザード終了」画面が表示されるので、**ログイン継続** または **ログアウト** をクリックしてメイン画面に戻る

※ **ログイン継続** : ログイン状態を継続したままウィザードを終了します。

※ **ログアウト** : ログアウトしてウィザードを終了します。

■ダウンロード先フォルダが指定されているが、フォルダのダウンロードが行われていないとき

2-16 ページの手順2(すでにログイン中のときは手順1)のあとに続けて以下の操作を行います。

3 「フォルダのダウンロード」画面となるので、**OK** をクリックする

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。「ウィザード終了画面」(☞2-20ページ「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。

※ダウンロード先のフォルダを変更するとき

① **フォルダ変更** をクリックする。

② 右記の「フォルダの変更」画面となるので、ダウンロード先のフォルダを選択して、**OK** をクリックする。

→「フォルダのダウンロード」画面に戻ります。

◆中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。「ウィザード終了画面」(☞2-20ページ「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。

※別のフォルダを指定するときは、

フォルダ追加 をクリックしてください。

「■ダウンロード先フォルダ指定、フォルダのダウンロードが行われていないとき」の手順3に戻ります。

フォルダのダウンロード

以下にフォルダをダウンロードします。よろしいですか？

フォルダ名	パス名
VMU	C:\Program Files (x86)\ET-VM MAP-Xi\save\VMU

フォルダ変更 **OK** キャンセル

フォルダの変更

ダウンロード先フォルダを選択してください。

フォルダ名	パス名
VMU	C:\Program Files (x86)\ET-VM MAP-Xi\save\VMU
VMU1	C:\Program Files (x86)\ET-VM MAP-Xi\save\VMU1

フォルダ追加 **OK** キャンセル

↓
これ以後は「■ダウンロード先フォルダ指定、フォルダのダウンロードが行われていないとき」の手順5(☞2-17 ページ)に移行します。

2. 基本操作

■ダウンロード先フォルダ指定、フォルダのダウンロードが行われているとき

2-16 ページの手順2(すでにログイン中のときは手順1)のあとに続けて以下の操作を行います。

3 「フォルダの指定」画面となるので、**OK** をクリックする

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。「ウィザード終了画面」(2-20ページ「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。

※ダウンロード先のフォルダを変更するとき

- ① **フォルダ変更** をクリックする。
- ② 右記の「フォルダの変更」画面となるので、ダウンロード先のフォルダを選択して、**OK** をクリックする。
→「フォルダのダウンロード」画面に戻ります。

◆中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。「ウィザード終了画面」(「補足説明」参照)のあと、メイン画面に戻ります。

※別のフォルダを指定するときは、

フォルダ追加 をクリックしてください。
「■ダウンロード先フォルダ指定、フォルダのダウンロードが行われていないとき」の手順3に戻ります。

フォルダの指定

以下フォルダに音声メッセージをダウンロードします。よろしいですか？

フォルダ名	パス名
VMU	C:\Program Files (x86)\ET-VMMAP-Xi\save\VMU

フォルダ変更 **OK** キャンセル

フォルダの変更

ダウンロード先フォルダを選択してください。

フォルダ名	パス名
VMU	C:\Program Files (x86)\ET-VMMAP-Xi\save\VMU
VMU1	C:\Program Files (x86)\ET-VMMAP-Xi\save\VMU1

フォルダ追加 **OK** キャンセル

これ以後は「■ダウンロード先フォルダ指定、フォルダのダウンロードが行われていないとき」の手順7(2-18 ページ)に移行します。

補足説明

●途中で **キャンセル** をクリックした場合、右記の「ウィザード終了」画面が表示されます。

ログイン継続 : ログイン状態を継続したままウィザードを終了します。

ログアウト : ログアウトしてウィザードを終了します。

ウィザード終了画面

ウィザードを終了しました。
現在ログイン状態です。
ログインを継続しますか？

ログイン継続 **ログアウト**

2. 基本操作

[5] 録音情報／音声ファイルのダウンロード時に表示されるエラー画面について

ボイスメモから録音情報／音声ファイルをダウンロードするとき、ボイスメモの音声メッセージの状況やパソコンの状況によってはエラー画面が表示される場合があります。

エラー画面の表示	エラーとなった原因
音声ファイルはすでに消去されています。	消去された音声メッセージをダウンロードしました。 (消去された音声メッセージだけをいくつかダウンロードした場合も含みます)
PC のメモリ不足です。	パソコンのメモリ(ハードディスクなどの空き容量)が不足しています。
PC のメモリ不足です。 常時ダウンロード機能を解除します。 メモリを確保したあとで再設定してください。	
指定のフォルダにアクセスできませんでした。 リトライします。よろしいですか？	パソコンの指定されたフォルダにアクセスできませんでした。 ※ <input type="button" value="OK"/> をクリックするとリトライできます。
一部の音声ファイルがダウンロードできませんでした(音声ファイルなし)。	消去された音声メッセージを含めてダウンロードしようとした。 (いくつかの音声ファイルをダウンロードしたとき) ※消去されていない音声ファイルはパソコンに保存されます。
一部の音声ファイルがダウンロードできませんでした(PC のメモリ不足)。	パソコンのメモリ(ハードディスクなどの空き容量)が不足しています。 (いくつかの音声ファイルをダウンロードしたとき) ※メモリ不足になる前にダウンロードできたファイルはパソコンに保存されます。
通信エラーが発生しました。	パソコンと主装置との通信が途切れました。 ※いくつかの録音情報や音声ファイルをダウンロード時は、通信エラーとなる前にダウンロードが完了したボックスのファイルはパソコンに保存されます。

補足説明

- 複数のエラー内容がある場合は、表示しているエラー画面の をクリックすると次のエラー画面が表示されます。
- ダウンロードした音声ファイル(AAC)のファイルサイズの目安は以下のようになります。ハードディスクなどの空き容量を確保する際の参考にしてください。
サイズ(バイト) = 秒数 × 3000 + 256
例) 3分の場合、180 × 3000 + 256 = 528KB

2. 基本操作

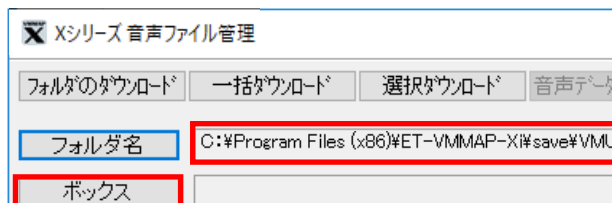
録音情報を表示する

[1] 録音情報一覧を表示する 必須

ダウンロードした録音情報を一覧表示できます。

1 メイン画面の **フォルダ名** の右枠に表示されているフォルダが、録音情報を表示したいフォルダであることを確認し、**ボックス** をクリックする

※フォルダを変更する場合は **フォルダ名** をクリックしてください。(☞ 2-11ページ)



2 「ボックス/システム応答メッセージを開く」画面となるので、「BOX選択」を選び、録音情報一覧を開くBOXにチェックを入れ、「開く」をクリックする

全選択 : すべてのボックスが選択されます。

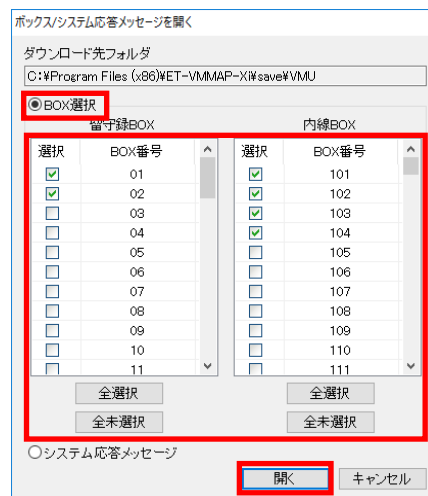
全未選択 : すべてのボックスが未選択となります。

※すでに一覧表示しているBOXはグレイアウトとなり指定できません。

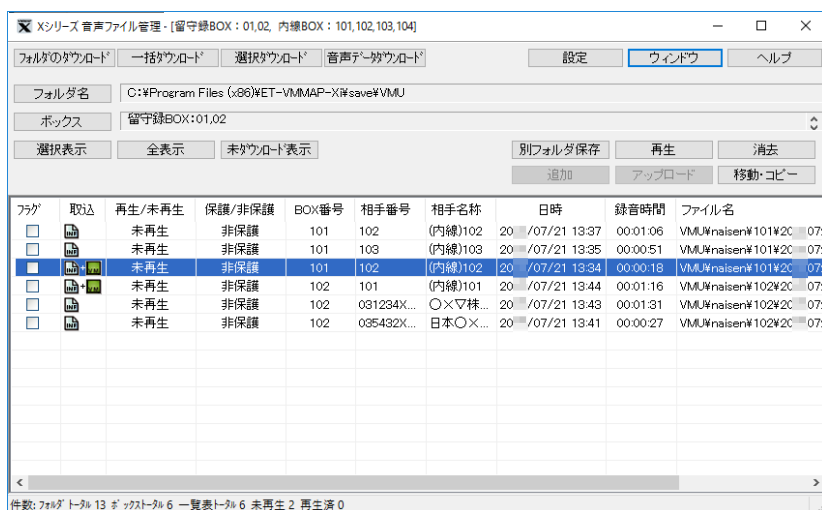
新たに指定したBOXは別ウインドウとして表示されます。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

※「システム応答メッセージ」を選び、システム応答メッセージの一覧を開くこともできます。



3 メイン画面に録音情報一覧が表示される



補足説明

- 録音情報一覧の各項目の詳しい説明は、1-12 ページをご覧ください。
- 録音情報一覧を開くまで時間がかかる場合があります。
- 音声ファイルをダウンロードしていない録音情報がある場合は、手順3でメイン画面の **未ダウンロード表示** がアクティブ表示となります。このボタンをクリックすると、音声ファイルをダウンロードしていない録音情報だけを表示できます。**全表示** をクリックするとすべてが表示されます。
- 録音情報一覧を表示中に、対象のBOXの録音情報をダウンロード(☞ 2-12、2-13ページ)して **全表示** をクリックすると、録音情報一覧が更新されます。

2. 基本操作

ご注意

- メイン画面に表示される録音情報一覧は最大化表示されているため、閉じることができません。録音情報一覧を閉じる場合は、メイン画面の **ウィンドウ** をクリックし、いずれかの表示方法を選んでからウィンドウの **✕** ボタンをクリックしてください。
- 本アプリケーションが、ダウンロードフォルダ内で扱える音声メッセージの上限は 20000 件です。20000 件を超えた場合、パソコンの動作が遅くなるなど正常に動作しない場合があります。20000 件を超えないようにしてお使いください。(☞3-24 ページ)

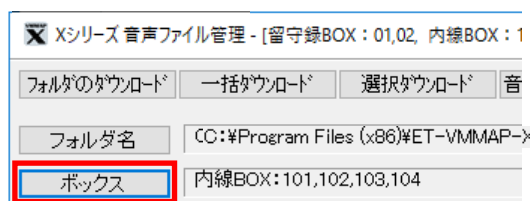
[2] 録音情報一覧を複数表示する

同じフォルダ内であれば、最大4つまでの録音情報一覧を表示できます。

1つの録音情報一覧で複数のBOXの情報を表示できますが、複数の録音情報一覧に分けて表示できます。留守録BOXと、お使いの内線BOXの録音情報一覧を並べて表示するなど、いろいろな組み合わせでご利用いただけます。

1 録音情報一覧を表示している状態で、**ボックス** をクリックする

※フォルダを変更する場合は **フォルダ名** をクリックしてください。(☞2-11ページ)



2 「ボックス/システム応答メッセージを開く」画面となるので、新たに録音情報一覧を表示したいBOXにチェックを入れ、**開く** をクリックする

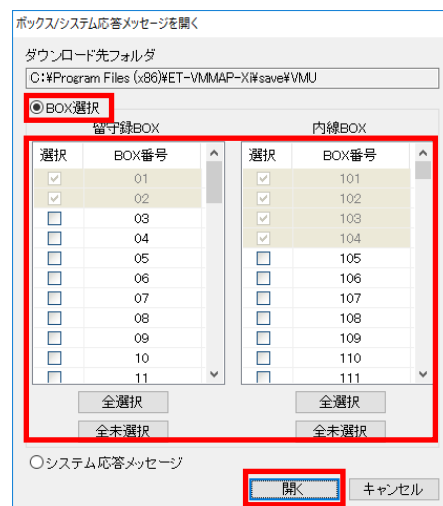
全選択 : すべてのボックスが選択されます。

全未選択 : すべてのボックスが未選択となります。

※すでに一覧表示しているBOXはグレイアウトとなり指定できません。再指定する場合は、該当する録音情報一覧を閉じてください。閉じる場合は、メイン画面の **ウィンドウ** をクリックしていずれかの表示方法を選んでからウィンドウの **✕** ボタンをクリックしてください。

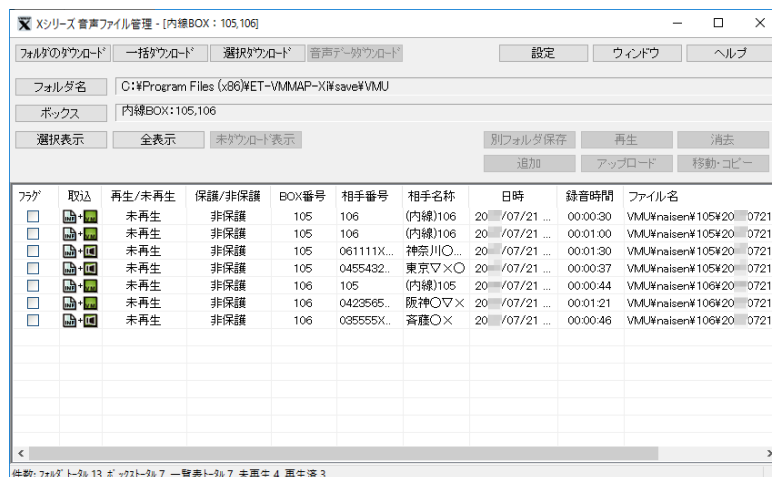
※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

※「システム応答メッセージ」を選び、システム応答メッセージの一覧を開くこともできます。



3 メイン画面に新しく開いたBOXの録音情報一覧が表示される

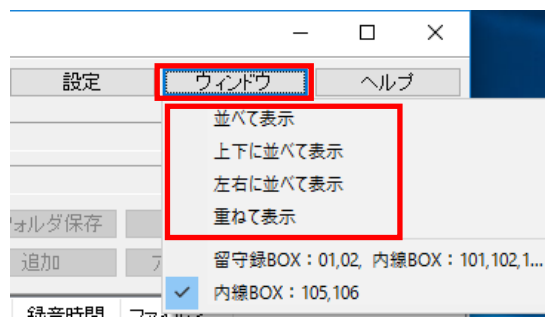
※新たに指定したBOXは別ウィンドウとして最大化表示されます。



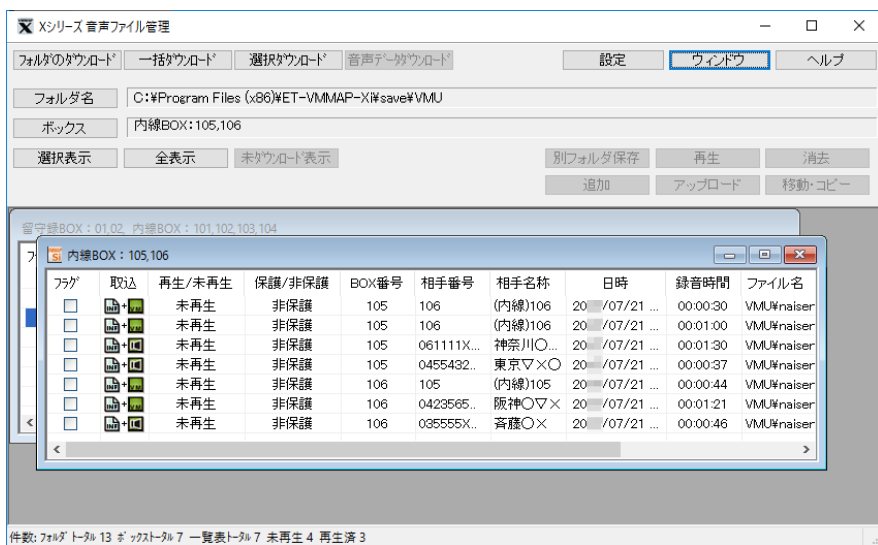
2. 基本操作

4 メイン画面の **ウィンドウ** をクリックし、表示方法を選ぶ

※お好みの表示方法を選んでください。



5 手順4で指定した表示方法で複数の録音情報一覧が表示される (画面は「重ねて表示」の例)



補足説明

- 録音情報一覧は4つまでしか開けません。4つ以上を開こうとすると「開ける一覧表が上限に達しています。」というエラー画面が表示されます。
- 録音情報一覧をいくつか表示しているとき、**ウィンドウ** をクリックすると、表示方法と現在開いている録音情報一覧のリスト(対象のBOX番号)を表示できます。アクティブになっている録音情報一覧にはチェックマーク(✓)が表示されます。このリストをクリックすると録音情報一覧を切り替えることができます。
- **ボックス** の右枠には、アクティブな録音情報一覧に表示しているBOX番号が表示されます。
- メイン画面の各機能ボタンは、アクティブな録音情報一覧に対して機能します。

ご注意

- 同時に表示できるのは同じフォルダ内のボックスだけです。別のフォルダを指定すると、開いている録音情報一覧はすべて閉じられます。
- メイン画面に表示される録音情報一覧は最大化表示されているため、閉じることができません。録音情報一覧を閉じる場合は、メイン画面の **ウィンドウ** をクリックしていずれかの表示方法を選んでからウィンドウの **[X]** ボタンをクリックしてください。

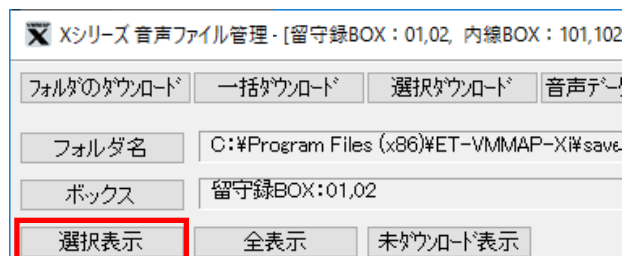
2. 基本操作

[3]条件を絞り込んで録音情報一覧を表示する

録音情報一覧の各項目に条件を指定し、条件に合った録音情報だけを絞り込んで表示できます。

1

録音情報一覧を表示している状態で、**選択表示** をクリックする



2

「選択表示」画面となるので、必要な項目にチェックを入れてそれぞれの条件を設定し、**OK** をクリックする

用件メッセージの設定画面

※複数の項目を選べます。各検索条件に関

しては、次ページの表をご覧ください。

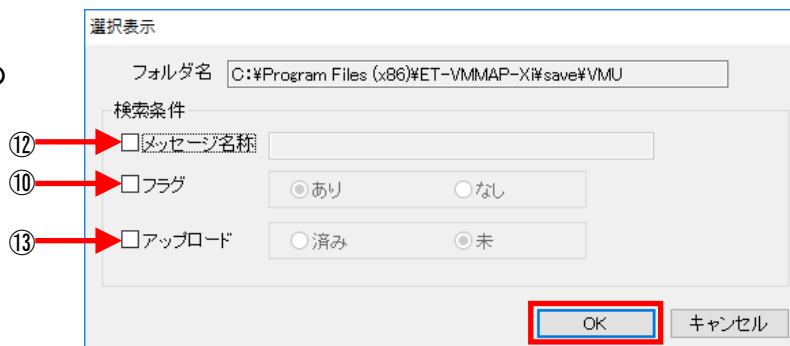
※検索条件を空欄にした場合は、該当する項目が空欄のものを検索します。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



システム応答メッセージの設定画面

※システム応答メッセージでは、絞り込みの対象項目が異なります。



3

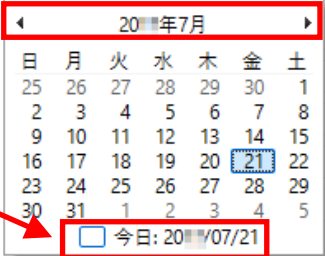
設定した条件で絞り込まれた録音情報一覧が表示される

※ **全表示** をクリックすると「すべて」の表示に戻ります。

※設定した条件に該当する録音情報がない場合は、「該当するメッセージがありません。」のエラー画面が表示されます。 **OK** をクリックするとメイン画面に戻ります。

2. 基本操作

各項目の絞り込み(抽出する)条件

番号	項目	入力方法／選択方法
①	日付	<p>抽出する期間を入力します。範囲が一日の場合は、開始と終了に同じ日付を入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接入力する場合: 年(4桁)/月(2桁)/日(2桁)をすべて半角で入力します。 ・カレンダーを表示して入力する場合: 日付入力欄の右のアイコンをクリックするとカレンダー画面(右図)が表示されるので、日付をクリックしてください。 <p>年月を切り替える場合に操作する</p> <p>今日の日付を入力する</p> <p>カレンダー画面からの入力を中止する場合は、カレンダー画面以外の部分をクリックしてください。</p> 
②	タイトル	<p>入力した文字列で始まるタイトルを抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。全角20文字/半角40文字以内で入力してください(*1)。</p> <p>※ダウンロードした録音情報には含まれません。「録音情報編集」画面(☞3-11 ページ)で入力します。</p>
③	BOX 番号	<p>入力した英数字で始まる BOX 番号を抽出します。</p> <p>検索する BOX 番号を半角英数字4文字以内で入力してください。</p> <p>(内線 BOX: 数字 1~4 桁、留守録 BOX: R01~R48)</p>
④	BOX 名称	<p>入力した文字列で始まる BOX 名称を抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。全角10文字/半角20文字以内で入力してください(*1)。</p> <p>※BOX 名称欄はダウンロードした録音情報には含まれません。「BOX 名称編集」画面(☞3-13 ページ)で入力します。</p>
⑤	相手番号	<p>入力した数字で始まる相手の電話番号を抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。半角32文字以内(/全角16文字以内)で入力してください。</p> <p>※ダウンロードした録音情報に含まれる電話番号は半角数字ですが、「録音情報編集」画面(☞3-11 ページ)で電話番号の編集ができるため、半角数字以外も入力できます。</p>
⑥	相手名称	<p>入力した文字列で始まる相手名称/非通知理由を抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。全角16文字/半角32文字以内で入力してください(*1)。</p> <p>※ダウンロードした録音情報には含まれます。「録音情報編集」画面(☞3-11 ページ)で編集できます。</p>
⑦	再生／未再生	パソコンで音声メッセージを再生したかどうかを基準に抽出します。
⑧	保護／非保護	保護されているか保護されていないかを基準に抽出します。
⑨	取込	<p>ダウンロード(取込)状態で抽出します。</p> <p>「録音情報+音声データ」は、再生済/未再生/消去済の中から複数を選べます。</p> <p>「録音情報のみ」を選んだ場合は、「録音情報+音声データ」は選べません。</p>
⑩	フラグ	音声情報に付けたフラグ(チェックマーク「✓」)の有無で抽出します。
⑪	メモ	<p>入力した文字列で始まるメモの内容で抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。全角20文字/半角40文字以内で入力してください(*1)。</p> <p>※ダウンロードした録音情報には含まれません。「録音情報編集」画面(☞3-11 ページ)で入力します。</p>
⑫	メッセージ名称	<p>入力した文字列で始まるメッセージ名称を抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。全角10文字/半角20文字以内で入力してください(*1)。</p> <p>※ダウンロードした録音情報には含まれます。「録音情報編集」画面(☞3-11 ページ)で編集できます。</p>
⑬	アップロード	システム応答メッセージがアップロード済みか否かを基準に抽出します。

*1: あいまいな検索が可能なワイルドカードも使用できます。

ワイルドカード文字	意味
% (半角)	0 個以上の文字がその位置に入る。
_ (半角)	1 個の文字がその位置に入る。

2. 基本操作

検索例

入力文字	検 索 結 果
%株式	× × 株式 × × 株式会社 株式会社 × × ×
新%工業	新日本 × × 工業 新東京 × × 工業(株)
日本%	日本工業 × × (前方一致と同様)
_日本	○日本 × 日本
_ _電気	日○電気 関 × 電気
新_ _会社	新○○会社 新 × × 会社
関東_ _	関東 × × (前方一致と同様)

2. 基本操作

音声メッセージを再生する

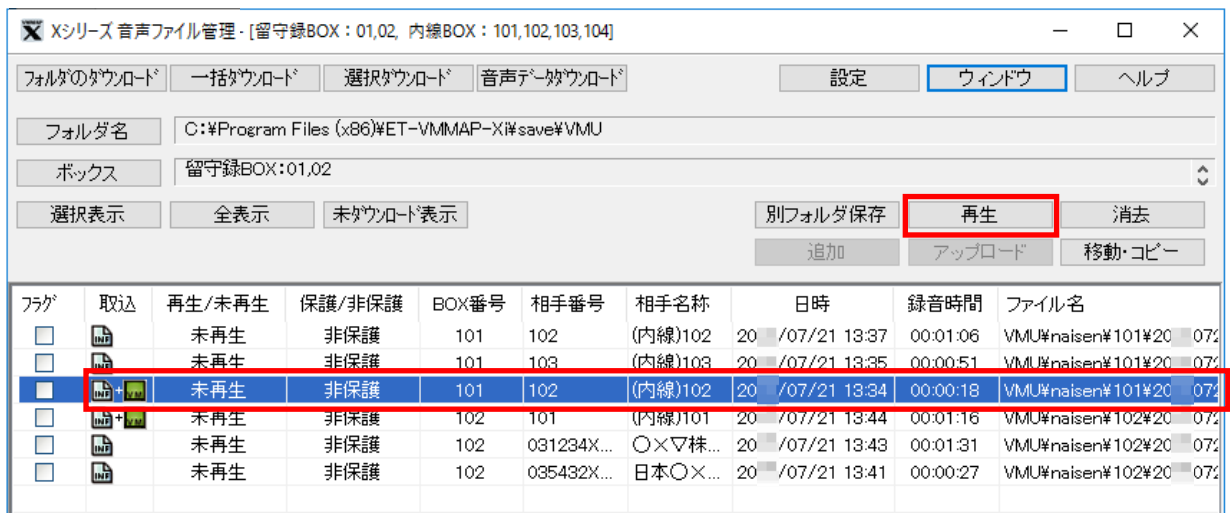
必須

録音情報一覧に表示されている音声メッセージをパソコンで再生できます。

1 録音情報一覧を表示している状態で、再生したい音声メッセージを選び、再生をクリックする

※録音情報一覧をクリックすると音声メッセージが選ばれます。

※複数のメッセージを選んだ場合は再生できません。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

2 プレーヤーが起動し、音声メッセージが再生される

※再生を停止したり終了したりするときは、起動したプレーヤーで操作を行ってください。

補足説明

- 音声メッセージは汎用のプレーヤーで再生されます。Windows 標準のプレーヤー(Windows Media® Player など)での再生を推奨します。音声メッセージの関連付けが Windows 標準のプレーヤー以外になっている場合でパソコンを使用する上で支障がない場合は、関連付けを変更してください。
※ファイルの関連付けの変更方法につきましては、お使いのパソコンの説明書などを確認してください。
- Windows Media® Player で再生する場合、再生中に別の音声メッセージを再生するとこれまでの再生を終了し、あとから選んだ音声メッセージを再生します。その他のプレーヤーをお使いになるときは、複数のウィンドウが開き同時に再生をすることがありますので、再生するたびにプレーヤーを終了してください。
- 再生を開始すると、「再生/未再生」欄の表示が「再生済」に切り替わります。

ご注意

- 音声ファイルがダウンロードされていない場合は再生できません。音声ファイルをダウンロードしてください。
(⇒2-14 ページ)

2. 基本操作

補足説明

- 本アプリケーション起動中、パソコンのスピーカ音量を変更できます。(音声メッセージ再生音量調整のための機能)
音量調整手順は以下のとおりです。

1 設定メニューの「パソコンの音量を調整する...」をクリックする



2 「パソコンの音量調整」画面となるので、「音量調整する」にチェックを入れ、音量の設定／ミュートの設定をして **OK** をクリックする

→パソコンのスピーカ音量／ミュート設定が変更される

※初期設定は「音量調整しない」です。

※音量は0～100(音量小～音量大)の範囲で設定できます。初期設定は50です。

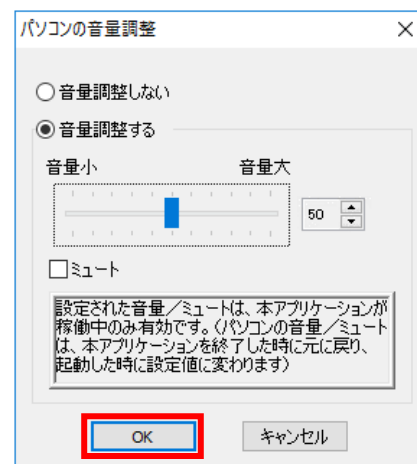
※「ミュート」欄にチェックを入れると音をミュートします。初期設定はミュートなし(チェックなし)です。

※音量の設定は下記のいずれかの操作で行ってください。

- ・ボリュームスライダーの部分をクリックする。
- ・ボリュームスライダーを左右に移動して調整する。
- ・エディットボックスの▲または▼をクリックして値を調整する。

(ボリュームバーの位置とエディットボックスの値はリアルタイムで連動します)

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- ◆下記のいずれかの場合、パソコンの音量／ミュート状態は設定前の値に戻ります。

- ・「音量調整しない」に設定し、**OK** をクリックしたとき
- ・本アプリケーション終了時

- ◆音声ファイル再生中にも本設定ができます。設定した時点で設定値が反映されます。

2. 基本操作

◆本機能でパソコンの音量を調整したあと、本機能以外の方法で音量を調整すると、あとから調整した音量に変わります。この場合、本機能で設定し直すか、または本アプリケーションを起動し直すまで、本機能で設定された音量にならないので運用上注意が必要です。また、この状態で本アプリケーションを終了した場合、音量はそのままになります。

例 1: パソコンのスピーカ音量が 50 の状態から本機能で 70 に変更した場合、本アプリケーションを終了すると 50 に戻る。

例 2 : パソコンのスピーカ音量が 50 の状態で、本機能で 70 に変更したあと、他の方法で音量を 60 に変え、本アプリケーションを終了した場合、音量は 60 のままになる。

例 3: パソコンのスピーカ ミュート OFF の状態から本機能でミュート ON に変更した場合、本アプリケーションを終了するとミュート OFF に戻る。

例 4: パソコンのスピーカ ミュート OFF の状態で、本機能でミュート ON に変更したあと、他の方法でミュート OFF に変え、本アプリケーションを終了した場合、ミュートは OFF のまま。

2. 基本操作

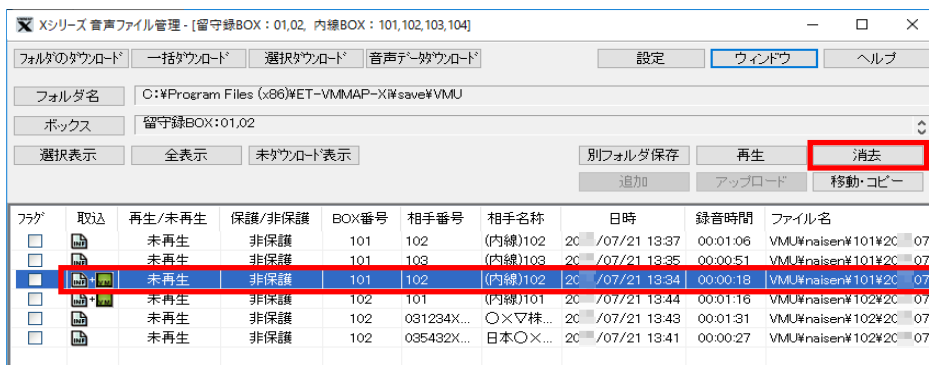
音声メッセージを消去する

パソコン内の録音情報および音声ファイルを一覧表から選んで消去できます。また、ボイスメモ内の音声メッセージも消去できます。

1 録音情報一覧を表示している状態で、消去したい音声メッセージを選び、**消去** をクリックする

※録音情報一覧をクリックすると音声メッセージが選ばれます。

※複数のメッセージを選んで消去できます。

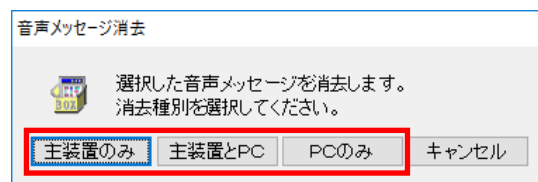


★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

2 「音声メッセージ消去」画面となるので、いずれかの消去種別ボタンをクリックする

※消去種別は下記のとおりです。

- ・ **主装置のみ** : ボイスメモの音声メッセージを消去する。
- ・ **主装置とPC** : ボイスメモの音声メッセージとパソコン内の録音情報、音声ファイルを消去する。
- ・ **PCのみ** : パソコン内の録音情報、音声ファイルを消去する。



ログインしていないときは **PCのみ** だけが有効です。ボイスメモの音声メッセージを消去するときにはログインしてください。(⇒2-2ページ)

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

3 「消去の確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。「音声メッセージ消去」画面に戻ります。

4 「消去中」画面となり、進行状況が表示される

※中断はできません。

5 「消去完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

※ **主装置のみ** で消去した場合、録音情報一覧の「取込」欄のアイコンは、 → になります。

補足説明

- ボイスメモの音声メッセージは、ダウンロード先のBOXの録音情報一覧で選んだ場合に消去できます。移動・コピーを行った場合、移動・コピー先のBOXの録音情報一覧からボイスメモの音声メッセージは消去できません。
- 保護されているメッセージ(「保護/非保護」欄の表示が「保護」になっている)は消去されません。

2. 基本操作

■エラー内容

ボイスメモの音声メッセージの状況やパソコンの状況によってはエラー画面が表示される場合があります。消去種別によって該当するエラー(○)と該当しないエラー(ー)とがあります。

エラー画面の表示	原因と対処方法	消去種別		
		主装置のみ	主装置とPC	PCのみ
音声メッセージは使用中のため消去できません。	指定した音声メッセージは使用中(電話機などで再生中)です。しばらく待ってからやり直してください。	○	○ *1	ー
音声ファイルがダウンロードされていません。	音声ファイルがダウンロードされていません。	○	○	ー
音声メッセージがありません。または「保護」に設定されています。	ボイスメモ内の音声メッセージはすでに消去されているか、移動またはコピーされたものです。	○	○ *1	ー
	指定した音声メッセージは「保護」に設定されています。「非保護」に設定してからやり直してください。	○	○	○
一部の音声メッセージが消去できませんでした (音声メッセージ使用中)。	指定した音声メッセージの一部は使用中(電話機などで再生中)です。しばらく待ってからやり直してください。	○	○ *1	ー
一部の音声メッセージが消去できませんでした (音声ファイル未ダウンロード)。	音声ファイルのうち一部がダウンロードされていません。	○	○ *2	ー
一部の音声メッセージが消去できませんでした (音声メッセージなしまたは「保護」)。	ボイスメモ内の音声メッセージはすでに消去されているか、移動またはコピーされたものです。	○	○ *1	ー
	指定した音声メッセージは「保護」に設定されています。「非保護」に設定してからやり直してください。	○	○	○
指定のフォルダにアクセスできませんでした。 リトライします。よろしいですか？	指定されているフォルダにアクセスできませんでした。 ※ <input type="button" value="OK"/> をクリックするとリトライできます。	ー	○	○
通信エラーが発生しました。	パソコンと主装置との通信が途切れました。 接続を確かめて、ログインからやり直してください。	○ *3	○ *3	ー

*1: パソコン内の録音情報と音声ファイルが消去されます。

*2: パソコン内の音声情報ファイルが消去されます。

*3: 主装置は、通信エラーが発生する前までの音声メッセージが消去されます。

補足説明

- 複数のエラー内容がある場合は、表示されているエラー画面の をクリックすると次のエラー画面となります。すべてのエラー画面がなくなるとメイン画面に戻ります。

2. 基本操作

システム応答メッセージを追加する

他のXシリーズの主装置のボイスメモからダウンロードしたシステム応答メッセージや外部アプリケーションで録音した音声ファイル(AAC)を、システム音声メッセージとして読み込んで管理できます。読み込んだシステム応答メッセージは、ボイスメモにアップロード(2-36 ページ)して使います。

1 システム応答メッセージの一覧表を開き、追加したいメッセージ番号を選んで **追加** をクリックする

※複数のメッセージは選べません。

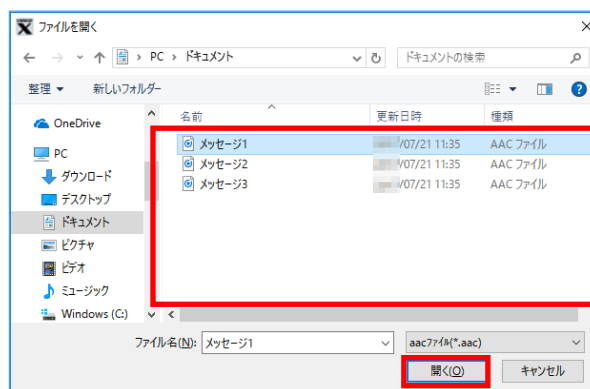
※ファイル名が空白の行にはメッセージはありません。それ以外の行にはメッセージがあります。ファイルを読み込むとメッセージは上書きされます。

選択表示		全表示		未ダウンロード表示		別フォルダ保存		再生		消去	
						追加		アップロード		移動・コピー	
メッセージ番号	フラグ	アップロード	録音時間	システム応答メッセージ名称	ファイル名						
001	<input type="checkbox"/>		00:00:30	おはようございます1	VMU#outou#20 07211144_FRI_A001_0000.aac						
002	<input type="checkbox"/>		00:00:14	こんにちは	VMU#outou#20 07211147_FRI_A002_0000.aac						
003	<input type="checkbox"/>		00:00:14	こんばんは	VMU#outou#20 07211147_FRI_A003_0000.aac						
004	<input type="checkbox"/>		00:00:09	留守です1	VMU#outou#20 07211147_FRI_A004_0000.aac						
005	<input type="checkbox"/>	済み	00:00:15	留守です2	VMU#outou#20 07211147_FRI_A005_0000.aac						
006	<input type="checkbox"/>	済み	00:00:14		VMU#outou#20 07211201_FRI_A006_0000.aac						
007	<input type="checkbox"/>		---								
008	<input type="checkbox"/>		---								

件数: フォルダ トータル 13 システム応答メッセージ トータル 300 一覧表トータル 6

2 「ファイルを開く」画面が表示されるので、ファイルを選んで **開く** をクリックする

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3 「取り込み中」画面が表示され、音声ファイルが読み込まれる

※読み込みに時間がかかる場合があります。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

4 「取り込み完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

2. 基本操作

補足説明

- 追加できる音声ファイルは、下記フォーマットの AAC ファイルです。これ以外のフォーマットは追加できません。

パラメータ	許容値
拡張子	aac (大、小文字、混在も可能)
フォーマット	Windows オーディオフォーマット
コンテナフォーマット	ADTS
MPEG バージョン	2 または 4
プロテクション	CRC 保護なし
プロファイル	LC
ビットレートモード	ABR または CBR
サンプリング周波数	8kHz
ビットレート	24kbps (ABR, CBR 共に max.48kbps)
チャンネル数	1 (mono)

- ・録音時間は 10 分以下にしてください。10 分を超える場合は追加できません。
 - ・追加したい音声ファイルのフォーマットが不明または上記と異なる場合、音声データ変換アプリケーション(※)を使用して音声ファイルを作成してください。
- なお、他の X/Si シリーズの主装置からダウンロードしたシステム応答メッセージ(録音時間 10 分以下)を追加する場合は、そのまま使用できます。iFシリーズの主装置からダウンロードしたシステム応答メッセージを追加する場合は、フォーマットが異なるため、変換が必要です。

※推奨アプリケーション:FFmpeg

FFmpeg は、パソコンの「コマンド プロンプト」上で実行し、音声ファイルを作成します。

◆作成手順

- ① パソコンの同一フォルダ上に、ffmpeg.exe、および元の音声ファイルを格納する。
- ② ①のフォルダをエクスプローラで開き、エクスプローラのアドレスバーに”cmd”と入力し、Enter キーを押す。
①のフォルダで「コマンドプロンプト」が開けない場合は、別のフォルダを使用してください。
- ③ コマンドプロンプト画面が表示されるので、以下の四角枠内を半角で入力し、Enter キーを押す。
→システム応答メッセージとして追加できるファイルが作成される。

```
ffmpeg.exe -i "xxxxx.xxx" -vn -ar 8000 -ab 24k -ac 1 -acodec aac -profile:a aac_low -f adts -vol bbbb "yyyyy.aac"
```

- *1:xxxxx.xxx は元の音声ファイルの名称を示します(拡張子を含む)。
- *2:yyyyy.aac は作成後の音声ファイルの名称を示します(拡張子を含む)。拡張子は aac としてください。
- *3:元の音声ファイルと作成後の音声ファイルの拡張子が同じ場合、同じファイル名にしないでください。拡張子が異なる場合は同じファイル名でも作成できます。
- *4:-vol bbbb は音量を変更したい時に入力してください。
- *5:bbbb (2 桁～4 桁)は音量増減レベル値です。以下の表を参考にして入力してください。音量レベルを変えると音がひずむ場合がありますのでご注意ください。また、音量の変更を繰り返すと音質が低下しますので、元の音声ファイルから変更してください。

音量増減レベル		bbbb
音量減 ↑	-24dB	16
	-20dB	26
	-16dB	41
	-12dB	64
	-8dB	102
	-4dB	162
音量増減レベル		bbbb
↓ 音量増	+4dB	406
	+8dB	643
	+12dB	1019
	+16dB	1615
	+20dB	2560
	+24dB	5057

- *6:ffmpeg.exe ファイルは、ffmpeg の web サイトからダウンロードするなどして用意ください。
- ffmpeg.exe ファイルは 32 ビット版と 64 ビット版があります。ご使用のパソコンの OS に合ったものを用意ください。

◆入力例

例 1:ファイル「vmssl.wav」から音量変更なしで、ファイル「outou1.aac」を作成する場合:

```
ffmpeg.exe -i "vmssl.wav" -vn -ar 8000 -ab 24k -ac 1 -acodec aac -profile:a aac_low -f adts "outou1.aac"
```

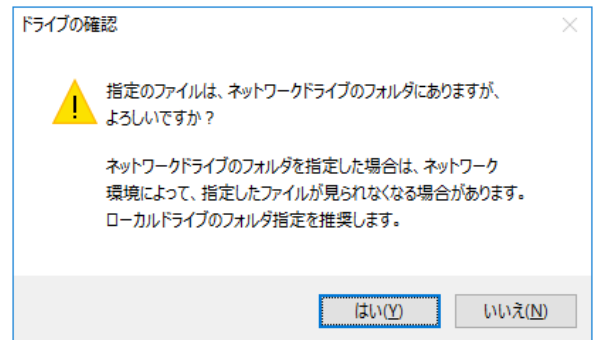
例 2:ファイル「vmssl.aac」から音量増(+4dB)で、ファイル「outou2.aac」を作成する場合:

```
ffmpeg.exe -i "vmssl.aac" -vn -ar 8000 -ab 24k -ac 1 -acodec aac -profile:a aac_low -f adts -vol 406 "outou2.aac"
```

2. 基本操作

ご注意

- ハードディスクに十分な空きがあることを確認してから操作してください。
 - 音声データ変換アプリケーションを使って AAC ファイルを作成すると、元の音声データに比べて音質が変わったり、ひずんだりすることがあります。
 - 手順2の「ファイルを開く」画面で、ネットワークドライブにあるファイルを指定して、**開く** をクリックすると、右の確認画面が表示されます。ネットワークの環境によって、指定されたファイルが見られなくなる場合がありますので、ローカルドライブのファイル指定を推奨します。
- ※続ける場合は **はい(Y)** をクリックしてください。
いいえ(N) をクリックすると、前の画面に戻ります。



2. 基本操作

システム応答メッセージをアップロードする

システム応答メッセージをボイスメモにアップロードできます。アップロードしたメッセージは、簡易IVRや留守録機能で使えます。アップロードするには主装置にログインする必要があります。

1 主装置にログインし、システム応答メッセージの一覧表を開き、追加したいメッセージ番号を選んで **アップロード** をクリックする

※複数のメッセージを選べます。

※ファイル名が空白の行にはメッセージはありません(アップロードはできません)。

選択表示	全表示	未ダウンロード表示	別フォルダ保存	再生	消去
			追加	アップロード	移動・コピー
メッセージ番号	フラグ	アップロード	録音時間	システム応答メッセージ名称	ファイル名
001	<input type="checkbox"/>		00:00:30	おはようございます1	VMU#outou#¥20 07211144_FRI_A001_0000.aac
002	<input type="checkbox"/>		00:00:14	こんにちは	VMU#outou#¥20 07211147_FRI_A002_0000.aac
003	<input type="checkbox"/>		00:00:14	こんばんは	VMU#outou#¥20 07211147_FRI_A003_0000.aac
004	<input type="checkbox"/>		00:00:09	留守です1	VMU#outou#¥20 07211147_FRI_A004_0000.aac
005	<input checked="" type="checkbox"/>		00:00:14	留守です2	VMU#outou#¥20 07211205_FRI_A005_0000.aac
006	<input type="checkbox"/>		--:--:--		
007	<input type="checkbox"/>		--:--:--		
008	<input type="checkbox"/>		--:--:--		

件数: フォルダ 13 システム応答メッセージ トータル 300 一覧表トータル 5

2 「アップロードの確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

3 「アップロード中」画面が表示され、アップロードされる

※アップロードに時間がかかる場合があります。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

4 「アップロード完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

補足説明

- アップロードされたメッセージのアップロード欄には「済み」が表示されます。
- アップロードするメッセージがボイスメモにあるメッセージより新しい場合にはメッセージは上書きされます。ボイスメモにあるメッセージより古いものをアップロードしたいときには、「システム応答メッセージ名称」を別のものに変え、再び元に戻してからアップロードしてください。

ご注意

- 10分を超える長さのメッセージは、ダウンロードできますがアップロードできません。主装置で録音する際にはメッセージは10分以内にしてください。
- アップロードの際に自動で音量レベルの調整が行われます。アップロード前の音声データに比べ、音量は変わります。

3. その他の操作

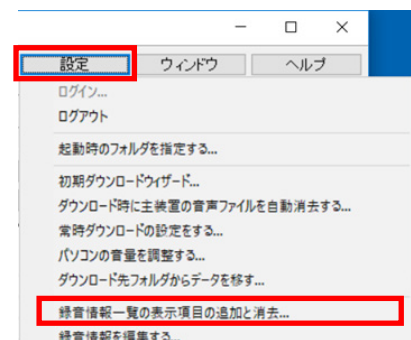
3. その他の操作

一覧表示する項目を追加・消去する

音声メッセージの録音情報一覧に表示する項目を追加したり消去したりできます。

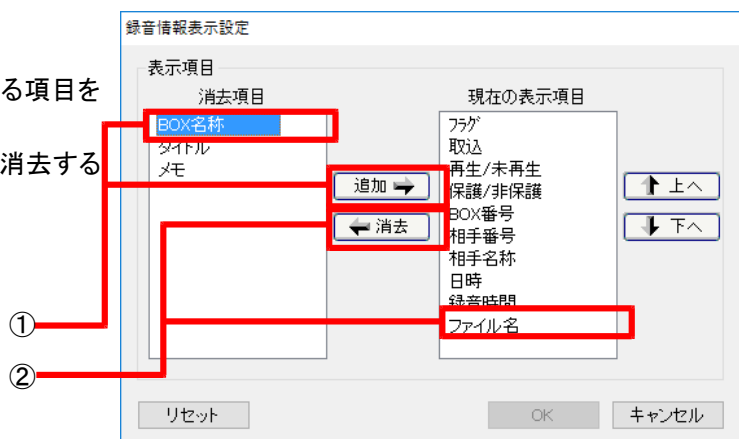
1 設定メニューの「録音情報一覧の表示項目の追加と消去...」をクリックする

※システム応答メッセージでは表示項目の変更はできません。



2 「録音情報表示設定」画面となる

- ① 追加する場合は、「消去項目」の中から追加する項目を選び、「追加→」をクリックする。
- ② 消去する場合は、「現在の表示項目」の中から消去する項目を選び、「←消去」をクリックする。

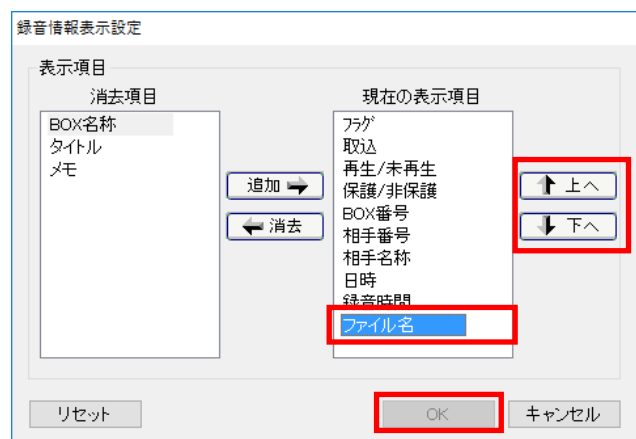


3 追加後に表示順序を変更する場合は、移動する項目を選び、↑上へ / ↓下へ をクリックして移動する すべての変更が完了したら OK をクリックする

※「現在の表示項目」の上から順に、メイン画面の一覧表の左から表示します。

※「リセット」は初期状態に戻すためのボタンです。
クリックすると、「リセットの確認」画面が表示されますので、リセットしてよい場合は「はい(Y)」をクリックしてください。初期状態の項目構成でメイン画面が表示されます。

※中止する場合は「キャンセル」をクリックしてください。



4 「設定の確認」画面が表示されるので、「はい(Y)」をクリックする

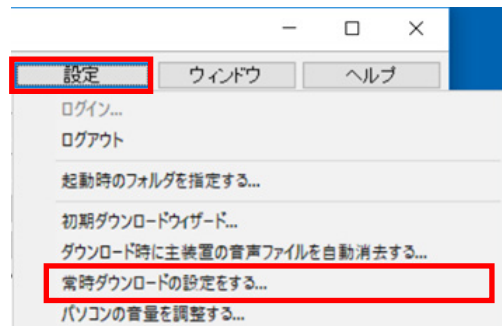
※やり直す場合は「いいえ(N)」をクリックしてください。「録音情報表示設定」画面に戻ります。

5 メイン画面に戻り、設定した項目構成で録音情報が表示される

音声ファイルの常時ダウンロード

ボイスメモに録音されている留守録BOX・内線BOXの録音情報／音声ファイルを、自動ダウンロードできます。これによりダウンロード操作を行わなくても、録音情報一覧(☞2-22ページ)の自動更新ができます。

1 主装置にログインし、設定メニューの「常時ダウンロードの設定をする...」をクリックする



2 「常時ダウンロードの設定」画面が表示されるので、設定を行い **OK** をクリックする

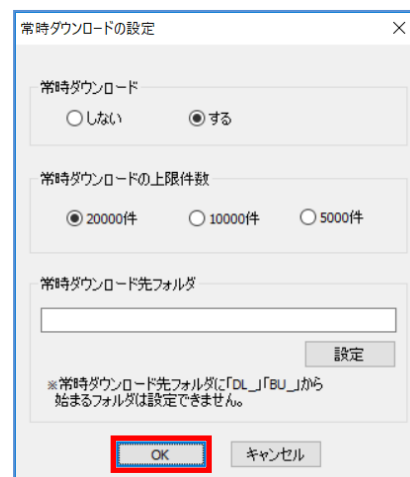
※常時ダウンロードを行う場合は、「する」を選択します。

その場合、「常時ダウンロードの上限件数」と「常時ダウンロード先フォルダ」を設定します。

スペックの低いパソコンをお使いの場合、上限件数は少なめに設定してください。

「DL」、「BU」から始まるフォルダは設定できません。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。



補足説明

- ログアウト中は、本機能は働きません。
- 「ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する」(☞3-23 ページ)機能を「あり」に設定してあるボックスは、ダウンロード後、ボイスメモに録音されている対象ボックスの音声ファイルが自動消去されます。
- フォルダのダウンロードがされていないフォルダを指定した場合は、フォルダのダウンロードをするために「ログイン画面」が表示されることがありますので、ユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。ログイン後は画面に従って操作してください。

ご注意

- 本機能が動作中、主装置との間で通信エラーが発生すると、ログアウトとなるため、その後再度ログインするまで、本機能の動作は中止されます。ネットワーク環境が良くない場合は、本機能をご使用しないでください。
- パソコンのメモリやハードディスクの空き容量が不足している場合は、エラー画面が表示され、「常時ダウンロード」の設定が自動的に解除されます。空きメモリを十分に確保したあとで再設定を行ってください。
- ダウンロードフォルダ内の音声メッセージの件数が、「常時ダウンロードの上限件数」を超えた場合、これまでのメッセージを新しいフォルダに移動します。「確認」画面が表示されるので、**OK** をクリックしてください。
「確認」画面を表示したまま10分経過すると、メッセージを新しいフォルダに移動します。
新しいフォルダについては、「ダウンロード先フォルダのデータを移動する」の「補足説明」(☞3-24 ページ)をご覧ください。

3. その他の操作

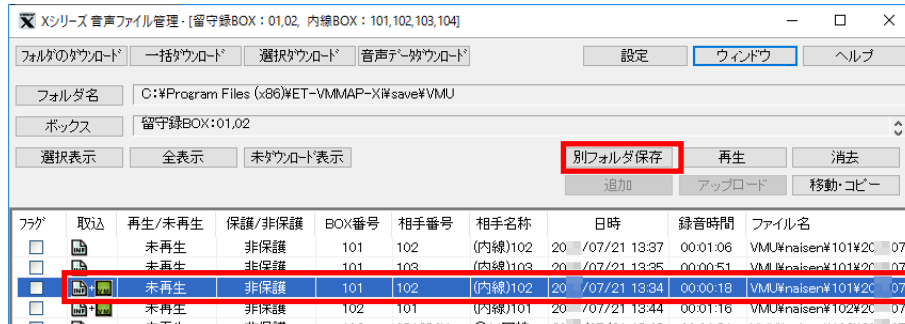
音声ファイルを指定フォルダに保存する

別フォルダ保存 ボタンで選択された音声ファイルを指定フォルダに保存できます。

1 録音情報一覧を表示した状態で、別フォルダに保存したい音声メッセージを選び、別フォルダ保存 をクリックする

※録音情報一覧をクリックすると音声メッセージが選ばれます。

※複数のメッセージを選べます。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

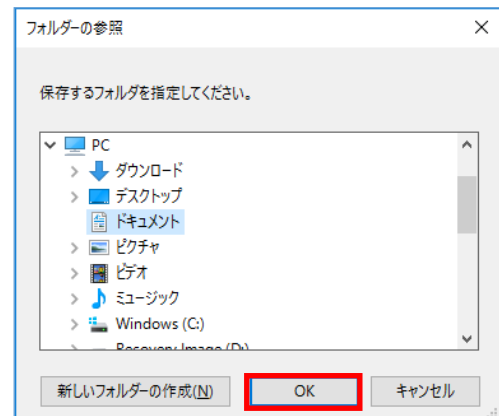
2 「フォルダーの参照」画面が表示されるので、保存先フォルダを選択して OK をクリックする

※中止する場合は キャンセル をクリックしてください。手順1の選択済画面に戻ります。

※初回は「ドキュメント」フォルダが指定されています。2回目以降は、前回指定したフォルダが指定されます。

※別のフォルダを作成するときは、下記の操作を行います。

- ①フォルダを作成する場所を選ぶ。
- ②新しいフォルダーの作成(N) をクリックする(選んだフォルダに新しいフォルダが作成されます)。
- ③「新しいフォルダ」が作成されるので、右クリックし「名前の変更」を選んで名前を変更する。
- ④フォルダを指定し、OK をクリックする。



3 「保存確認」画面が表示されるので、はい(Y) をクリックする

※中止する場合は いいえ(N) をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

4 「保存中」画面となり、進行状況が表示される

※中止する場合は キャンセル をクリックしてください。

5 「保存完了」画面が表示されたら、OK をクリックしてメイン画面に戻る

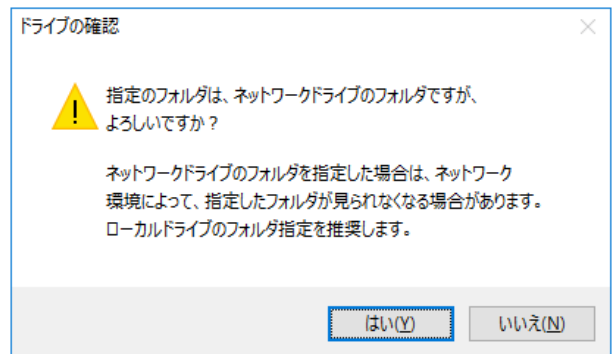
3. その他の操作

補足説明

- 保存元の音声ファイルはそのまま残ります。

ご注意

- 保存元の音声ファイルがない場合は指定フォルダに保存できません。エラー画面が表示されます。複数の録音情報を選んだ場合は、保存元の音声ファイルがある録音情報だけを指定フォルダに保存します。
- パソコンのメモリやハードディスクの空き容量が不足している場合は、指定のフォルダに保存できない場合があります。エラー画面が表示されますが、エラーとなる前までの音声ファイルは保存されます。
- 指定のフォルダに保存された音声ファイルは、本アプリケーションの管理対象外となります。従って、本アプリケーションから対象の音声ファイルを指定して、再生や消去などはできません。エクスプローラや市販のアプリケーションを使用して再生や消去などをしてください。
- 手順2の「フォルダーの参照」画面で、ネットワークドライブのフォルダを指定して、 をクリックすると、右の確認画面が表示されます。ネットワークの環境によって、指定されたフォルダが見られなくなる場合がありますので、ローカルドライブのフォルダ指定を推奨します。
※続ける場合は をクリックしてください。
 をクリックすると、前の画面に戻ります。



- 保存先のフォルダに同名のファイルがあると上書きされますので、注意してください。(確認画面などは表示されません)

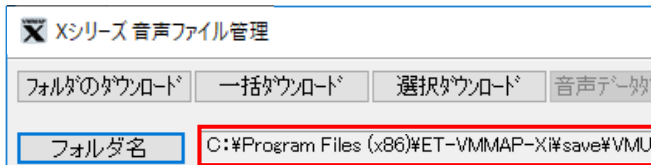
3. その他の操作

音声メッセージ移動・コピー専用のボックスフォルダを作成する

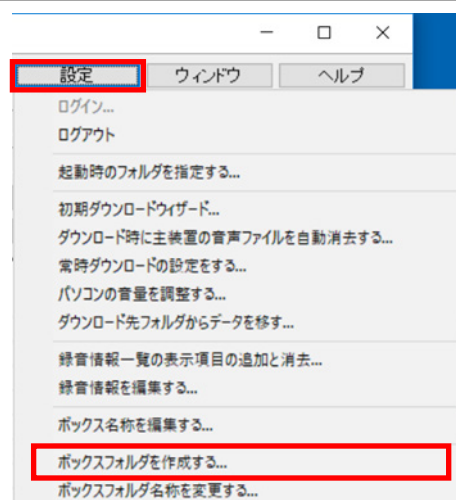
■ボックスフォルダを作成する

ボイスメモから各種メッセージをダウンロードするためのボックスフォルダ群とは別に、メッセージの移動・コピー専用のボックスフォルダを作成できます。内容や用途、相手などでメッセージを分類して管理するときなどにご利用ください。

- 1 メイン画面の **フォルダ名** の右枠に表示されているフォルダが、移動・コピー元の録音情報が保存されているフォルダであることを確認する



- 2 設定メニューの「ボックスフォルダを作成する...」をクリックする



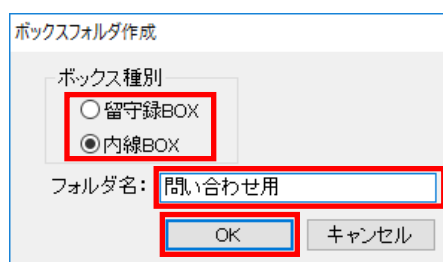
- 3 「ボックスフォルダ作成」画面が表示されるので、ボックス種別を選び、フォルダ名の入力をして、**OK** をクリックする

※ボックス種別による機能の違いはありません。移動・コピー元のボックス種別に合わせて選んでください。

※フォルダ名は全角7文字／半角14文字以内で入力してください。

※すでに作成してあるフォルダと同じ名前のフォルダは作れません。すでに作成してあるフォルダは、設定メニューの「ボックス名称を編集する...」をクリックして確認してください。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 4 「作成完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

※作成したボックスフォルダは、メイン画面の **ボックス** をクリックして表示される「ボックス/システム応答メッセージを開く」画面の「BOX番号欄」で確認できます。

補足説明

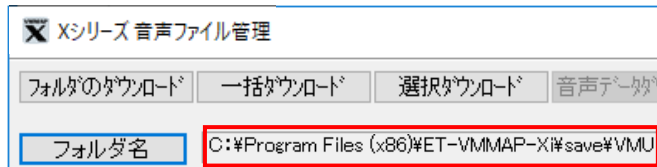
- 作成したボックスフォルダは、移動・コピー専用です。これらのフォルダに直接ダウンロードできません。
- ボックスフォルダのフォルダ名は、留守録BOXや内線BOXのBOX番号に相当します。フォルダ名とは別にボックス名称を登録できます。(3-13 ページ)

3. その他の操作

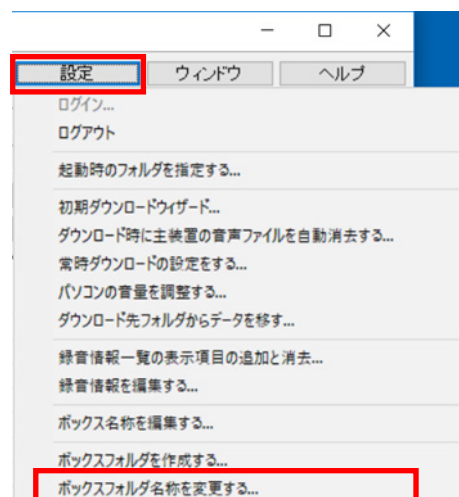
■ボックスフォルダ名称を変更する

作成したボックスフォルダの名称を変更できます。各種メッセージが移動・コピーされているフォルダも名称を変えられます。

- 1 メイン画面の **フォルダ名** の右枠に表示されているフォルダが、名称を変更するボックスフォルダが含まれているフォルダであることを確認する



- 2 設定メニューの「ボックスフォルダ名称を変更する...」をクリックする



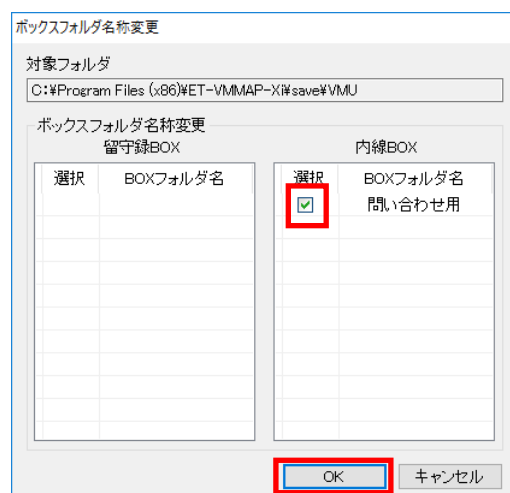
- 3 「ボックスフォルダ名称変更」画面が表示されるので、変更したいBOXの「選択」欄をチェックする。BOXフォルダ名を直接変更し、**OK** をクリックする

※複数のBOXフォルダ名を変更できます。

※フォルダ名は全角7文字／半角14文字以内で入力してください。

※すでに作成してあるフォルダと同じ名前のフォルダは作れません。すでに作成してあるフォルダは、設定メニューの「ボックス名称を編集する...」をクリックして確認してください。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 4 「登録の確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※中止する場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

- 5 「変更完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

※ボックスフォルダの名称は、メイン画面の **ボックス** をクリックして表示される「ボックス/システム応答メッセージを開く」画面の「BOX番号欄」で確認できます。

3. その他の操作

ご注意

- ボックスフォルダ名称を変更しても、そのままでは録音情報一覧には反映されません(画面には名称を変更する前の録音情報一覧が表示されていますが、各種機能は利用できません)。ボックスフォルダ名称を変更した場合には、ボックスを選び、録音情報一覧を開き直してください。

3. その他の操作

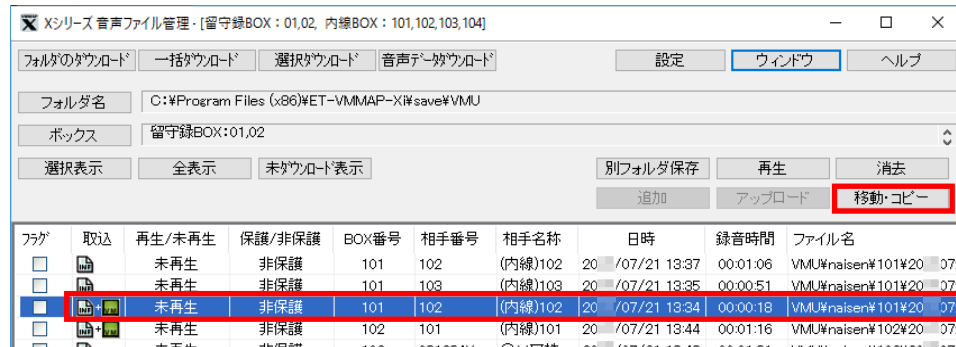
音声メッセージを別のボックスフォルダに移動・コピーする

ダウンロードした各種メッセージを、別のボックスフォルダに移動またはコピーできます。移動・コピー先として指定できるのは、同じダウンロード先フォルダ内にあるボックスフォルダだけです。

1 録音情報一覧を表示した状態で、移動またはコピーしたい音声メッセージを選び、**移動・コピー** をクリックする

※録音情報一覧をクリックすると音声メッセージが選ばれます。

※複数のメッセージを選んで移動・コピーできます。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

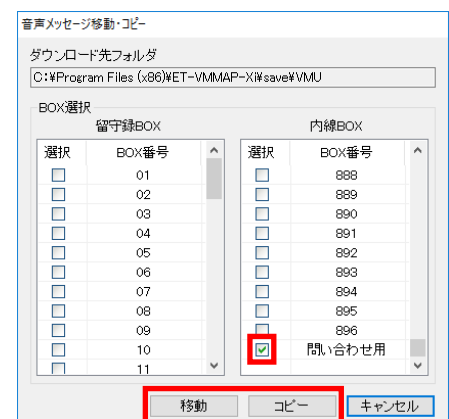
2 「音声メッセージ移動・コピー」画面となるので、移動・コピー先のBOX番号にチェックを入れ、**移動** または **コピー** をクリックする

移動 :メッセージが移動されます。移動元にメッセージは残りません。

コピー :メッセージがコピーされます。移動元にメッセージは残ります。

※一覧に表示されているBOXを一つ選んでください。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3 「移動の確認」画面または「コピーの確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※中止する場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。「音声メッセージ移動・コピー」画面に戻ります。

4 「移動中」画面または「コピー中」画面となり、進行状況が表示される

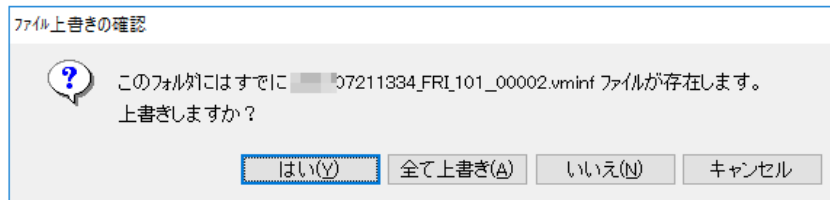
※移動またはコピー中に中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。

5 「移動完了」画面または「コピー完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

3. その他の操作

補足説明

- 移動・コピーしたファイルは、さらに他のボックスフォルダに移動・コピーできます。
- 移動先・コピー先に同じファイルがある場合は、「ファイル上書きの確認」画面が表示されます。



はい(Y)	: 画面に表示されたファイルだけを上書きします。
全て上書き(A)	: 以降は同じファイルがあってもすべて上書きします。
いいえ(N)	: 画面に表示されたファイルは上書きしません。
キャンセル	: 画面に表示されたファイルは上書きせず、以降の処理を終了します。「移動完了」画面または「コピー完了」画面が表示されます。

- 音声ファイルがダウンロードされていない録音情報は、移動・コピーできません。
- システム応答メッセージは、移動・コピーできません。

■エラー内容

下の表のエラー画面が表示される場合があります。

エラー画面の表示	エラーとなった原因
PC のメモリ不足です。	パソコンのメモリ(ハードディスクなどの空き容量)が不足しています。
一部の音声メッセージが移動できませんでした(音声ファイルなし)。	音声ファイルが存在しない(ダウンロードされていない)ものがあります。 (2つ以上のメッセージを移動時) ※音声ファイルがある録音情報だけが処理されます。
一部の音声メッセージがコピーできませんでした(音声ファイルなし)。	
一部の音声メッセージが移動できませんでした(PC のメモリ不足)。	パソコンのメモリ(ハードディスクなどの空き容量)が不足しています。 (2つ以上のメッセージを移動時) ※メモリ不足になる前のファイルまでは処理されます。
一部の音声メッセージがコピーできませんでした(PC のメモリ不足)。	

補足説明

- 複数のエラー内容がある場合は、表示されているエラー画面の をクリックすると次のエラー画面となります。すべてのエラー画面がなくなるとメイン画面に戻ります。

3. その他の操作

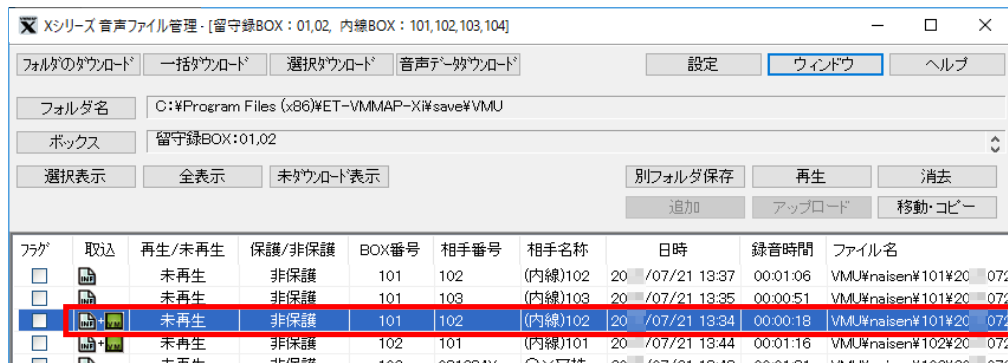
録音情報を編集する

ボイスメモからダウンロードした音声メッセージの各種情報を編集したり、タイトルやメモを付加したりできます。

1 録音情報一覧を表示した状態で、編集したいメッセージをダブルクリックする

※録音情報一覧をクリックすると音声メッセージが選ばれます。

※音声メッセージを選び、設定メニューの「録音情報を編集する...」をクリックして表示します。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

2 「録音情報編集」画面となるので、各項目を編集し **OK** をクリックする

※編集できる項目とその説明については次のページの一覧表をご覧ください。

用件メッセージとシステム応答メッセージでは編集の対象項目が違います。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

用件メッセージの編集画面

録音情報編集

ファイル名: VMU#naisen#102#20_07211344_FRI_102_00007.aac
BOX番号: 102 BOX名称:

項目編集

タイトル: 連絡事項
相手番号: 101
相手名称: (内線)101
保護/非保護: ☐ 保護 ☒ 非保護
フラグ: ☐ あり ☒ なし
メモ: 明日の出張の件

再生/未再生: 未再生
取込: 録音情報+音声データ(主装置側で未再生)

録音日時: 20/07/21 13:44
録音時間: 00:01:16

OK キャンセル

システム応答メッセージの編集画面

録音情報編集

ファイル名: VMU#outou#20_07211344_FRI_A001_0000.aac
メッセージ番号: 001

項目編集

メッセージ名称: おはようございます1
フラグ: ☐ あり ☒ なし

アップロード:

録音時間: 00:00:30

OK キャンセル

3 「登録の確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。「録音情報編集」画面に戻ります。

4 編集結果が反映された録音情報一覧が表示されたメイン画面に戻る

3. その他の操作

補足説明

- 録音情報一覧に「タイトル」、「メモ」を表示するには、「録音情報表示設定」が必要です。(☞3-2 ページ)
- 編集できる項目は以下の表のとおりです。

用件メッセージ

項 目	概 要
タイトル	メッセージのタイトルを入力します。 ※全角 20 文字/半角 40 文字以内
相手番号	メッセージを録音した相手の電話番号が表示されます。情報がなければ空欄になります。電話番号を修正できます。 ※全角 16 文字/半角 32 文字以内
相手名称	メッセージを録音した相手の名称が表示されます。非通知の着信は非通知理由(*1)を表示します。情報がなければ空欄になります。 相手名称を修正できます。 ※全角 16 文字/半角 32 文字以内
フラグ	フラグの有無を選びます。初期状態は「なし」です。「あり」にすると、録音情報一覧のフラグ欄にチェックマーク(✓)が表示されます。フラグの有無で条件を絞り込んで選択表示や、並び替えができます。お客様の目的に合わせて(例:重要な録音情報はチェックを入れる)、自由にお使いください。 録音情報一覧のフラグ欄をクリックしてもフラグ有無が切り替わります。
保護/非保護	音声ファイルの保護/非保護を選択できます。初期状態は非保護です。 ・保護: 音声ファイルが保護されている状態です。消去できなくなります。 ・非保護: 音声ファイルが保護されていない状態です。消去できます。
メモ	簡単なメモを入力できます。 ※全角 40 文字/半角 80 文字以内

*1: 非通知理由は、「非通知」・「公衆電話」・「表示圏外」のいずれかになります。

システム応答メッセージ

項 目	概 要
フラグ	フラグの有無を選びます。初期状態は「なし」です。「あり」にすると、録音情報一覧のフラグ欄にチェックマーク(✓)が表示されます。フラグの有無で条件を絞り込んで選択表示を行うことができます。お客様の目的に合わせて(例:重要な録音情報はチェックを入れる)、自由にお使いください。 録音情報一覧のフラグ欄をクリックしてもフラグ有無が切り替わります。
メッセージ名称	システム応答メッセージの名称を入力します。 ※全角 10 文字/半角 20 文字以内

ご注意

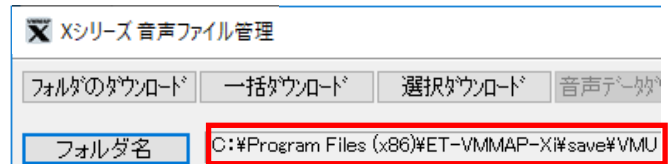
- メッセージを主装置からダウンロードしたあとで以下の操作をした場合、その録音情報は本アプリケーションに反映できません。
 - ・主装置でメッセージの名称を変更した。
 - ・主装置でメッセージを再生した。
- ダウンロードしたあとは、必ず本アプリケーションで名称を変えるか、データを消去(☞2-31 ページ)してもう一度ダウンロードしてください。

3. その他の操作

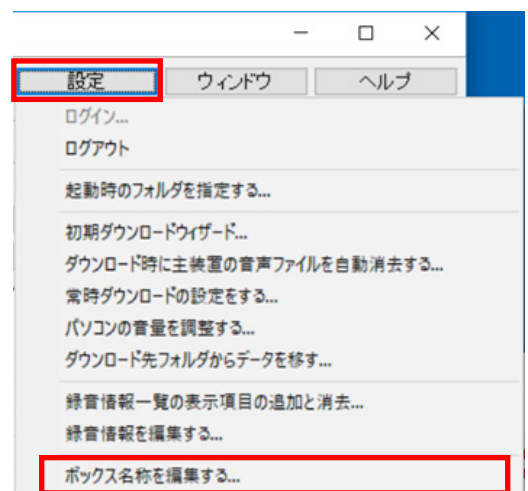
ボックス名称を編集する

ボイスメモからダウンロードしたボックスフォルダは BOX 番号だけで、ボックス名称は含まれていません。複数のボックスの録音情報を表示したとき、留守録 BOX や内線 BOX にボックス名称が登録してあると、それぞれの BOX の所有者(部署)を名称で確認でき、使いやすくなります。

- 1 メイン画面の **フォルダ名** の右枠に表示されているフォルダが、ボックス名称を編集するフォルダであることを確認する



- 2 設定メニューの「ボックス名称を編集する...」をクリックする



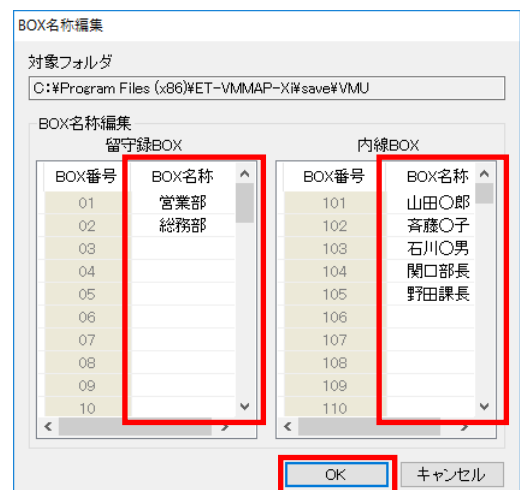
- 3 「BOX名称編集」画面が表示されるので、変更するBOX番号の「BOX名称」欄をクリックし、BOX名称を変更したら、**OK** をクリックする

※複数のBOX名称を変更できます。

※BOX名称は全角10文字／半角20文字以内で入力してください。

※BOX名称は同じ名前で複数登録できます。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 4 「登録の確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※中止する場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。

- 5 「登録完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

※録音情報一覧に「BOX名称」を表示している場合は、登録したBOX名称が表示されます。「BOX名称」を表示するには、「録音情報表示設定」が必要です。(☞3-2ページ)

3. その他の操作

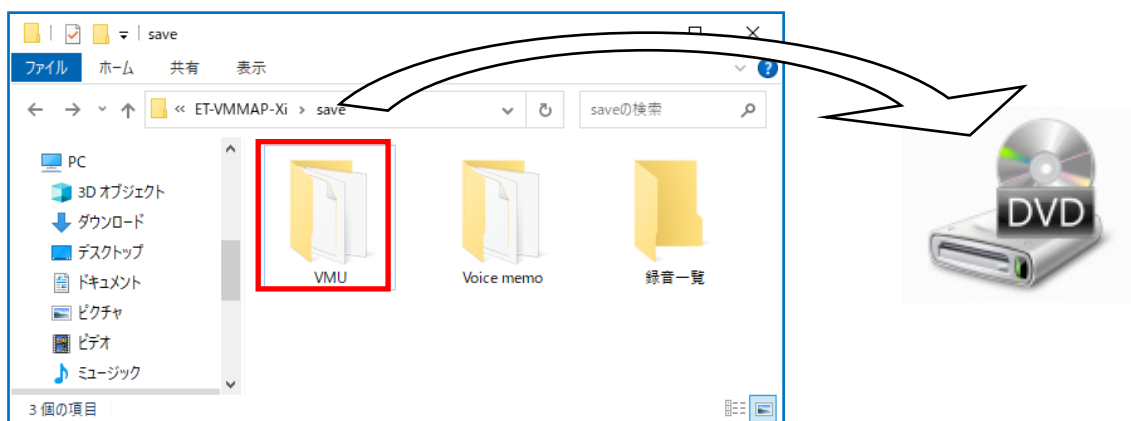
外部メディアに音声ファイルを保存する

パソコンに保存されている各種メッセージファイルは、CD-R や DVD-R などの外部メディアに保存できます。また外部メディアに保存したデータを再びパソコンに戻して本アプリケーションで扱えます。

■ファイルの保存

本アプリケーションでは各種メッセージデータは「ダウンロード先フォルダ」、「バックアップフォルダ」で管理しています。外部メディアに保存する場合には、そのフォルダを（サブフォルダも含めて）構成を変えずに保存してください。

例：“C:\Program Files\ET-VMMAP-Xi\save”にある”VMU”フォルダを保存する場合



■ファイルの復元

保存した各種メッセージデータを再び本アプリケーションで扱う場合には、元の場所（上記の例では C:\Program Files\ET-VMMAP-Xi\save）に保存したフォルダを戻してください。戻したあとは、「フォルダのダウンロード」画面で戻したフォルダを追加してください。（2-4 ページ）

ご注意

- データをコピーするときは、サブフォルダとその中に入っているすべてのファイルを保存してください。データを戻したときに本アプリケーションで利用できなくなる恐れがあります。
- 本アプリケーションには外部メディアに対して保存／復元する機能はありません。エクスプローラや市販のライティングソフトをご利用ください。
- 本アプリケーションは、外部メディア上のデータを直接扱うことはできません。保存したメディアからパソコンにデータを戻してから操作してください。

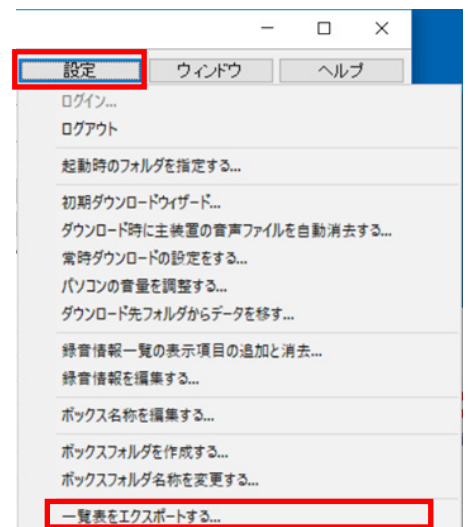
3. その他の操作

録音情報を CSV 形式でエクスポートする

パソコンに保存されている録音情報を EXCEL など利用できる CSV 形式のファイルとして出力できます。

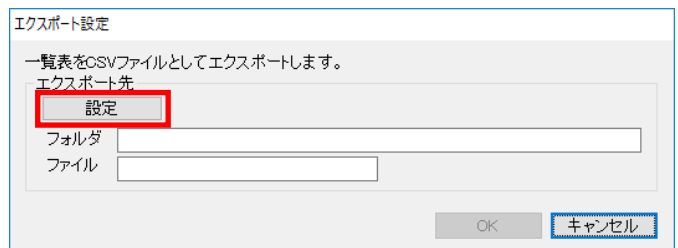
1 エクスポートしたい録音情報一覧を開き、設定メニューの「一覧表をエクスポートする...」をクリックする

※複数の録音情報一覧を開いている場合は、エクスポートしたい一覧をアクティブにしてください。



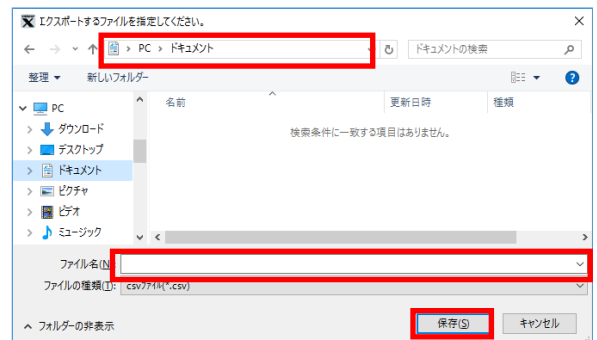
2 「エクスポート設定」画面が表示されるので、**設定** をクリックする

※フォルダ、ファイル欄に直接入力してエクスポート先を設定できます。



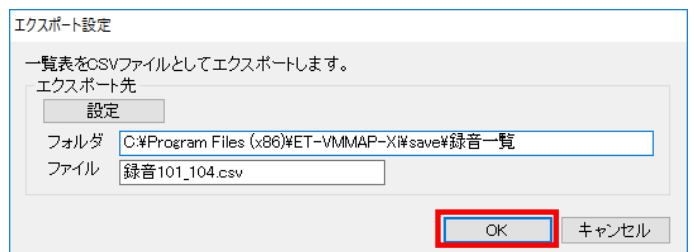
3 「エクスポートするファイルを指定してください。」画面が表示されるので、保存場所およびファイル名を決定して **保存(S)** をクリックする

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



4 「エクスポート設定」画面にエクスポート先が入力されるので、**OK** をクリックする

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



5 「エクスポート完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

3. その他の操作

補足説明

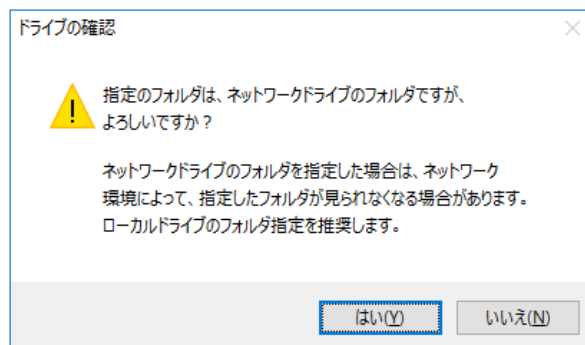
- CSV ファイルの1行目には、録音情報一覧の各項目名が一覧で表示されている順に出力されます。
- 録音情報一覧の情報で、文字以外のものは下記の文字に置き換えて出力されます。

録音情報一覧		CSV ファイル内の表記
フラグ	あり	フラグ
	なし	(空白)
取込	 + 	情報+音声(再生済)
	 + 	情報+音声(未再生)
		情報のみ
	 + 	主装置データ消去済

- エクスポートするとき、ファイル名が同じ場合は、上書きを確認する画面が表示されます。
 をクリックすると上書きします。 をクリックするとエクスポート先を指定する画面に戻りますので、エクスポート先(フォルダ/ファイル名)を変更してください。

ご注意

- 手順3で、ネットワークドライブのフォルダを指定すると、右の確認画面が表示されます。ネットワークの環境によって、指定されたフォルダが見られなくなる場合がありますので、ローカルドライブのフォルダ指定を推奨します。
※続ける場合は をクリックしてください。
 をクリックすると、前の画面に戻ります。

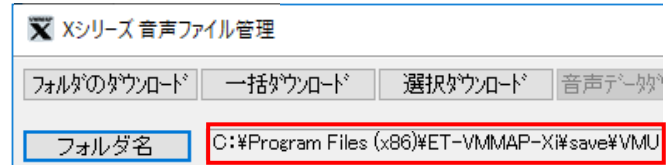


3. その他の操作

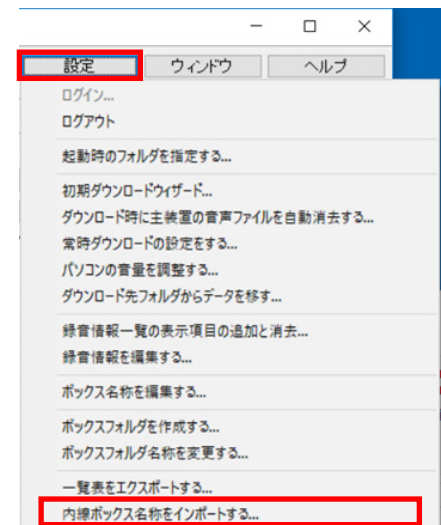
主装置の内線電話帳をインポートし、内線ボックス名称に反映させる

内線ボックスにはボックス名称(内線名称など)を登録できますが、内線電話帳データをインポートすると、登録されている内線名称がボックス名称として登録されます。

- 1 メイン画面の **フォルダ名** の右枠に表示されているフォルダが、内線電話帳をインポートしてよいフォルダか確認する

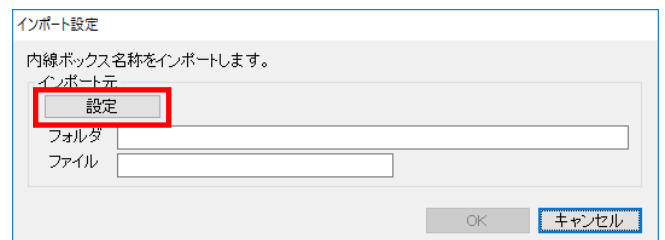


- 2 設定メニューの「内線ボックス名称をインポートする...」をクリックする



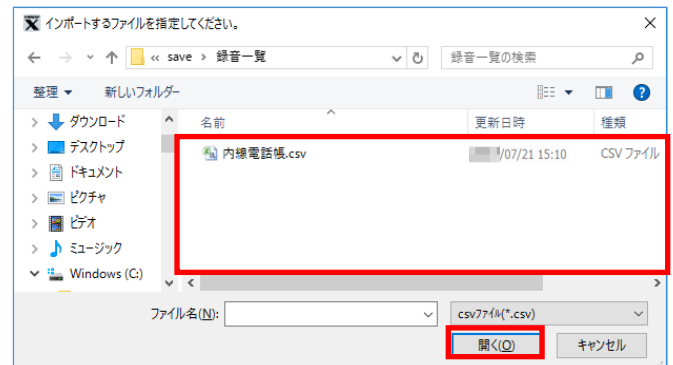
- 3 「インポート設定」画面が表示されるので、**設定** をクリックする

※フォルダ、ファイル欄に直接入力してインポート元を設定できます。



- 4 「インポートするファイルを指定してください。」画面が表示されるので、ファイルを選んで **開く(O)** をクリックする

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3. その他の操作

5 「インポート設定」画面にインポート先が入力されるので、**OK** をクリックする

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。
メイン画面に戻ります。

6 「インポート完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

補足説明

- インポートした内線電話帳の内線番号と、内線 BOX の BOX 番号が一致したデータだけが登録されます。
- 内線電話帳データは、専用の「電話帳／履歴管理アプリケーション」を使って保存します。

ご注意

- インポートする内線電話帳データは、「電話帳／履歴管理アプリケーション」で保存したファイルをそのまま使用してください。他のアプリケーションなどを使って編集したファイルをインポートした場合、BOX 名称が正しく登録されなかったり、本アプリケーションの動作が不安定になったりすることがあります。
- 手順4で、ネットワークドライブにあるファイルを指定すると、右の確認画面が表示されます。ネットワークの環境によって、指定されたファイルが見られなくなる場合がありますので、ローカルドライブのフォルダ指定を推奨します。

※続ける場合は **はい(Y)** をクリックしてください。

いいえ(N) をクリックすると、前の画面に戻ります。

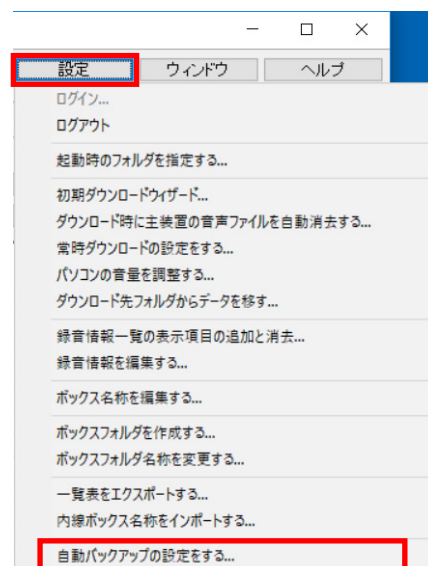
3. その他の操作

各種メッセージを自動でバックアップする

ボイスメモにある各種メッセージを自動でバックアップできます。バックアップする頻度や時間を設定できます。本機能をお使いになるにはアプリケーションを起動しておく必要があります。

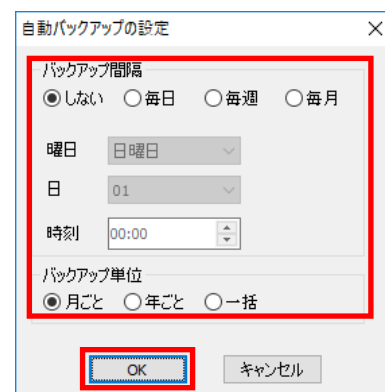
■バックアップの設定をする

- 1 設定メニューの「自動バックアップの設定をする...」をクリックする



- 2 「自動バックアップの設定」画面が表示されるので、各項目を設定して **OK** をクリックする

※各設定項目については補足説明をご覧ください。



- 3 設定されたタイミングになると自動でバックアップ処理が開始されます

※本アプリケーションは終了しないでください。

3. その他の操作

補足説明

●「自動バックアップの設定」画面の説明

バックアップ 間隔	しない	自動バックアップは実行されません。(初期設定)
	毎日	毎日実行させる場合に設定します。 時刻を設定してください。
	毎週	週に一度実行させる場合に設定します。 曜日と時刻を設定してください。
	毎月	月に一度実行させる場合に設定します。 日と時刻を設定してください。
曜日		バックアップ間隔を毎週に設定したときに選べます。実行する曜日を選びます。
日		バックアップ間隔を毎月設定したときに選べます。実行する日付を選びます。
時刻		実行する時刻を設定します。
バックアップ 単位	月ごと	月ごとにバックアップ先フォルダを変える場合に設定します。(初期設定)
	年ごと	年ごとにバックアップ先フォルダを変える場合に設定します。
	一括	バックアップ先フォルダを切り替えない場合に設定します。

●バックアップ先のフォルダについて

「自動バックアップの設定」画面の「バックアップ単位」の設定により、メッセージのバックアップ先フォルダを以下のように選択できます。

・「月ごと」を設定した場合：

専用フォルダが「ダウンロード先フォルダ」と同じ位置に、月単位で作成されます。(BU_yyyymm という名前が自動で付けられます。yyyy: 年 mm: 月) メッセージは録音された月のフォルダに保存されます。

例: 2023 年 7 月 21 日に録音されたメッセージ「BU_202307」フォルダに保存されます。

・「年ごと」を設定した場合：

専用フォルダが「ダウンロード先フォルダ」と同じ位置に、年単位で作成されます。(BU_yyyy という名前が自動で付けられます。yyyy: 年) メッセージは録音された年のフォルダに保存されます。

例: 2023 年 7 月 21 日に録音されたメッセージ「BU_2023」フォルダに保存されます。

・「一括」を設定した場合：

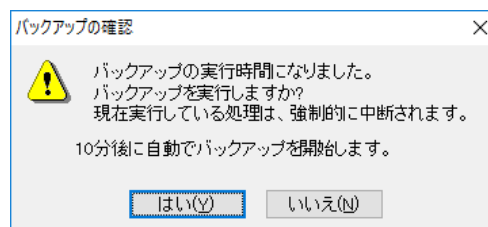
専用フォルダは「ダウンロード先フォルダ」と同じ位置に作成されます。メッセージはフォルダ「BU_ALL」に保存されます。

※フォルダ名は自動で付けられます。変更する際は、先頭に「BU_」を付けた名前にしてください。

●バックアップ確認画面について

自動バックアップをする設定にしてあると、バックアップの開始前に「バックアップの確認」画面が表示されます。バックアップを実行したくないときには をクリックしてください。

をクリックするか 10 分間操作をしなかったときはバックアップが開始されます。



ご注意

- バックアップ機能をお使いになるには、本アプリケーションを起動しておく必要があります。アプリケーションを終了してしまうとバックアップは実行されません。
- パソコンがスリープ状態や休止状態に移行するとバックアップは実行されません。これらの状態には移行させないようにパソコンを設定してください。
- ログイン中にはバックアップは実行されません。

3. その他の操作

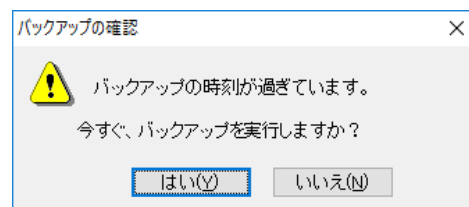
■アプリケーションの起動時のバックアップ

アプリケーションを起動した際に、設定されているバックアップの時刻が過ぎていると「バックアップの確認」ダイアログが表示されます。画面の説明に従って操作してください。

1 アプリケーションを起動すると、「バックアップの確認」画面が表示される

: すぐにバックアップを実行する場合にクリックします。

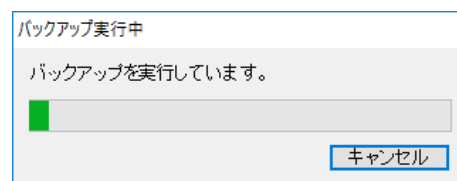
: バックアップを実行しない場合にクリックします。



2 をクリックすると、バックアップが開始される

※バックアップの実行中は他の操作はできません。終了するまでお待ちください。

※中止する場合は をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3 「バックアップ完了」画面が表示されたら をクリックしてメイン画面に戻る

補足説明

- バックアップ間隔の設定を「しない」にしている場合には、「バックアップの確認」画面は表示されません。

ご注意

- バックアップ処理は時間がかかります。時間が十分にあるときに実行することをおすすめします。

3. その他の操作

■アプリケーションの終了時のバックアップ

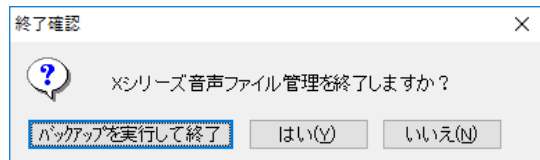
アプリケーションを終了する際にバックアップを実行してから終了できます。

1 アプリケーションを終了すると、「終了確認」画面が表示される

バックアップを実行して終了 : アプリケーションを終了する前にバックアップを実行します。

はい(Y) : アプリケーションを終了します。

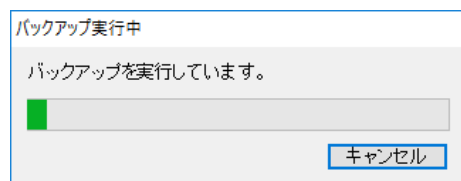
いいえ(N) : メイン画面に戻ります。



2 **バックアップを実行して終了** をクリックすると、バックアップが開始される

※バックアップの実行中は他の操作はできません。終了するまでお待ちください。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。



3 バックアップが完了したらアプリケーションは自動で終了します

補足説明

- バックアップ間隔の設定を「しない」にしている場合には、「バックアップの確認」画面は表示されません。

ご注意

- バックアップ処理は時間がかかります。時間が十分にあるときに実行することをおすすめします。
- アプリケーションを終了してしまうとバックアップは実行されません。

■バックアップ時に表示されるエラー画面について

バックアップ時に、下の表のエラー画面が表示される場合があります。

エラー画面の表示	エラーとなった原因
PCのメモリ不足です。	パソコンのメモリ(ハードディスクなどの空き容量)が不足しています。
通信エラーにより自動バックアップが中断しました。 自動バックアップ完了できなかったBOX aaa 今すぐリトライしますか？	パソコンと主装置との通信が途切れたために、一部のメッセージがバックアップできませんでした。 ※左記 aaa 部にバックアップできなかったメッセージのBOX番号が表示されます。 ※ はい(Y) をクリックするとリトライできます。
通信エラーにより自動バックアップできませんでした。 今すぐリトライしますか？	パソコンと主装置との通信が途切れたために、すべてのメッセージがバックアップできませんでした。 ※ はい(Y) をクリックするとリトライできます。
指定のフォルダにアクセスできませんでした。 リトライします。よろしいですか？	パソコンの指定されたフォルダにアクセスできませんでした。 ※ OK をクリックするとリトライできます。

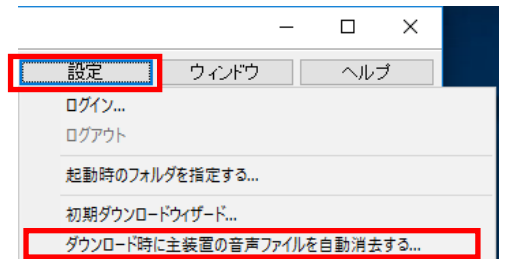
3. その他の操作

ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する

ダウンロード時(☞2-12ページ)にボイスメモに録音されている留守録BOX・内線BOXの録音情報・音声ファイルを、自動消去します。

※主装置でもメッセージ消去有無の設定を「消去あり」にする必要があります。このとき、保護メッセージや未再生メッセージは消去しないようにも設定できます。主装置の設定については販売店・工事店にご確認ください。

- 1 メイン画面の **フォルダ名** の右枠にダウンロード先フォルダが指定されていることを確認して、設定メニューの「ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する...」をクリックする

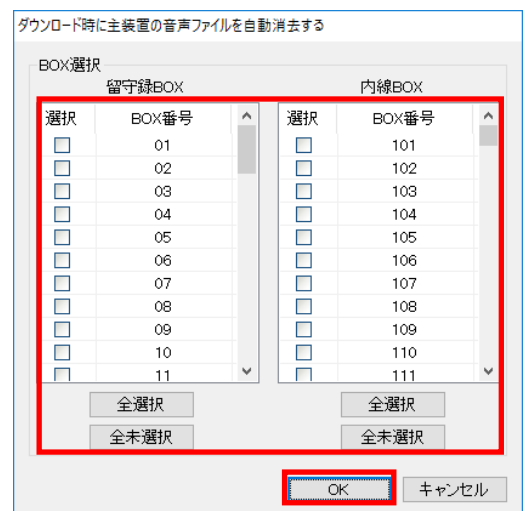


- 2 「ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する」画面となるので、ダウンロード時に自動消去したいBOXにチェックを入れ、**OK** をクリックする

全選択 :すべてのボックスが選択されます。

全未選択 :すべてのボックスが未選択となります。

※中止する場合は **キャンセル** をクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 「自動消去の確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** をクリックしてください。「ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する」画面に戻ります。

補足説明

- 本機能により、ボイスメモに録音されている録音情報・音声ファイルだけが自動消去されます。パソコン内の録音情報・音声ファイルは残ります。
- 自動バックアップ(☞3-19 ページ)または常時ダウンロード(☞3-3 ページ)の際にも本機能は有効です。

ご注意

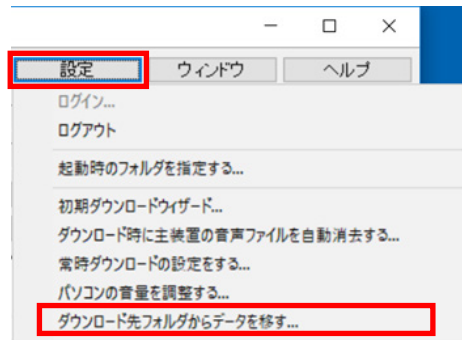
- ボイスメモの音声ファイルは設定された BOX 単位で自動消去されます。メッセージごとの自動消去はできません。
- システム応答メッセージは自動消去されません。
- ダウンロード先フォルダの指定や、フォルダのダウンロードの実施がされていない場合は「フォルダにボックス情報がありません。確認ください」というエラー画面が表示されます。**OK** をクリックするとメイン画面に戻りますので、ダウンロード先フォルダの設定(☞2-4 ページ)やフォルダのダウンロード(☞2-9 ページ)を実行してから設定し直してください。

3. その他の操作

ダウンロード先フォルダのデータを移動する

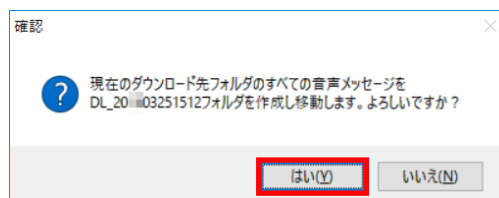
ダウンロード先フォルダ内の音声メッセージの件数が、20000件を超えると、アプリケーションの動作が遅くなるなど正常に動作しない場合があります。20000件を超えないように音声メッセージを別のフォルダに移動する必要があります。

- 1 メイン画面の **フォルダ名** の右枠に表示されているフォルダが、データを移動したいフォルダであることを確認して、設定メニューの「ダウンロード先フォルダからデータを移す...」をクリックする



- 2 「確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** をクリックする

※ **いいえ(N)** をクリックするとメイン画面に戻ります。



- 3 「移動中」画面となり、進行状況が表示される

※中断はできません。

- 4 「完了」画面が表示されたら、**OK** をクリックしてメイン画面に戻る

※新しいフォルダにデータが移動されます。

補足説明

- 新しいフォルダは現在ダウンロード先に行っているフォルダと同じ階層に作成されます。(DL_yyyymmddHHMM という名前が自動で付けられます。yyyy:年 mm:月 dd:日 HH:時 MM:分)
例:2023年7月21日10時30分に作成されたフォルダ 「DL_202307211030」フォルダになります。
※フォルダ名は自動で付けられます。変更する際は、先頭に「DL」を付けた名前にしてください。
- メッセージの再生中はメッセージの移動ができません。(エラー画面が表示されるので、**OK** をクリックしてください)
- 新しいフォルダに移動されたメッセージは以下の手順で確認してください。
 - ① 新しいフォルダをダウンロード先フォルダに変更する(☞2-11 ページ)
 - ② 内容を確認する
 - ③ 確認が終わったら、①で変更する前のフォルダをダウンロード先フォルダに戻す(☞2-11 ページ)

ご注意

- パソコンのメモリやハードディスクの空き容量が不足している場合は、エラー画面が表示されます。空きメモリを十分に確保したあとでやり直してください。

3. その他の操作

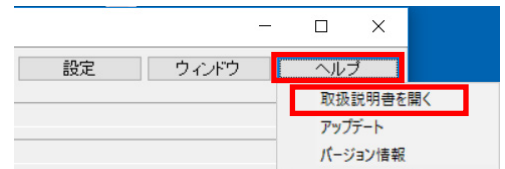
ヘルプを利用する

ヘルプメニューからは、以下の機能が使えます。

- ・取扱説明書を開く
- ・バージョン情報を表示する
- ・アップデートする

■取扱説明書を開く

- 1 メイン画面の **ヘルプ** をクリックすると、「ヘルプメニュー」が表示されるので、「取扱説明書を開く」をクリックする



- 2 取扱説明書ファイルが開く

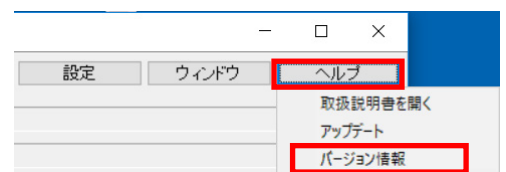
※取扱説明書のファイルを操作したり終了したりするときは、起動したアプリケーションで操作してください。

補足説明

- 取扱説明書は、パソコンの OS で関連付けられたアプリケーション (Adobe Reader 7.0 以上等) で表示されます。
※関連付けにつきましては、お使いのパソコンの説明書などを確認してください。
- 「保護モードでの AppContainer の非互換性」というダイアログが表示されて、取扱説明書が開けない (Acrobat Reader をお使いの場合) ことがあります。この場合は、以下の内容を設定して開き直してください。
 - ①「AppContainer が保護モードで無効になっている場合に Reader を開く」を選択し、**OK** をクリックする。
 - ②本アプリケーションを閉じる。
 - ③Acrobat Reader を開いて、「編集」→「環境設定」を選択し、「分類」から「セキュリティ(拡張)」を選択します。
 - ④「サンドボックスによる保護」セクションで「起動時に保護モードを有効にする」の選択を解除し、**OK** をクリックします。
その後は画面の指示に従ってください。

■バージョン情報を表示する

- 1 メイン画面の **ヘルプ** をクリックすると、「ヘルプメニュー」が表示されるので、「バージョン情報」をクリックする



- 2 バージョンが表示される

■アップデートする

本アプリケーションをアップデートします。詳しくは 1-7 ページをご覧ください。

メモ